

令和6年度
全国学力・学習状況調査
山梨県学力把握調査
山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査

授業改善の *Point*

各種学力調査の結果を踏まえた
授業改善・充実に向けて



令和6年10月
山梨県総合教育センター

YAMANASHI PREFECTURAL
EDUCATION CENTER

★目次★

全国学力・学習状況調査

P.7～ 調査結果の概要及び、授業改善の Point

- | | |
|--------------|--------------|
| ①小学校国語 P.20～ | ②小学校算数 P.26～ |
| ③中学校国語 P.32～ | ④中学校数学 P.38～ |

山梨県学力把握調査

P.45～ 調査結果の概要及び、授業改善の Point

- | | |
|--------------|--------------|
| ①中学校国語 P.46～ | ②中学校数学 P.50～ |
| ③中学校英語 P.54～ | |

山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査

P.59～ 調査結果の概要及び、授業改善の Point

- | | |
|--------------|--------------|
| ①小学校社会 P.60～ | ②小学校理科 P.64～ |
| ③中学校社会 P.68～ | ④中学校理科 P.72～ |
| ⑤中学校英語 P.76～ | |

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果概要を公開しています

<https://www.ypec.ed.jp>

山梨県総合教育センターのホームページの「トップページ」→「調査・研究」→「各種学力調査と学力関係資料」

※「令和6年度山梨県学力把握調査結果の概要」「令和6年度山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査の概要」についてもご覧いただくことができます。

「調査結果を踏まえた授業改善」を考える

1. 課題のある設問に着目する

- ①全国平均正答率や県平均正答率との差が大きい設問、正答率の低い設問、無解答率の高い設問に着目します。

2. 反応率の高い誤答に着目する

- ②解答類型の反応率から誤答の状況（児童生徒はどこでつまづいているのか）をつかみます。

3. 誤答から児童生徒の実態をつかむ

- ③誤答の原因（どこに課題があるのか）を考えます。

4. 児童生徒の実態を踏まえて授業をつくる

- ④対象学年だけでなく、それぞれの学年で取り組むべきことを明らかにします。
- ⑤本冊子「授業改善のPoint」や「授業づくりのヒント」、文部科学省の調査資料（解説資料、報告書、授業アイデア例等）を参考にして、指導の改善・充実を図りましょう。



各種調査結果を踏まえた**授業改善のPoint**を掲載



全国学調に出題されている**調査問題の趣旨、指導要領との関連**について詳しく解説



本県児童の解答結果を踏まえた**授業づくりのヒント**を掲載



全国学調の結果からみられる**傾向と授業アイデア例**を掲載



問題別調査 結果の見方

(全国学力・学習状況調査の例)

山梨県における各教科の調査を項目ごとに
まとめた一覧表です

(この表は、各学校に送付されています。)

◇対象学校、児童・生徒数

◇学習指導要領の内容の平均正答率の状況

◇問題別集計結果

この部分は、調査
問題と学習指導要
領の領域、評価の
観点、問題形式を
照らし合わせた表
です。

令和6年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果【算数】
山梨県一児童(公立)

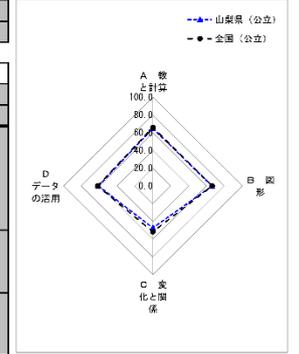
小学校調査

以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	山梨県(公立)	全国(公立)	対象児童数	山梨県(公立)	全国(公立)
	165	18,466		5,611	947,679
分類	区分		対象問題数(問)	平均正答率(%)	
	全体			山梨県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	A 数と計算		16	62	63.4
	B 図形		6	61.9	66.0
	C 測定		4	66.2	66.3
	D テーザの活用		0		
	変化と関係		3	47.3	51.7
評価の観点	知識・技能		9	72.3	72.8
	思考・判断・表現		7	49.1	51.4
	主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式	選択式		5	74.8	75.3
	短答式		7	60.1	62.0
	記述式		4	49.8	51.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



(注)「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 変化と関係	D データの活用			山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
1(1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる	○				○	57.4	62.1	0.2	0.2	
1(2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を口としたときの、問題場面を後す式を選ぶ	数量の関係を、口を用いた式に表すことができるかどうかをみる	○				○	87.3	88.5	0.3	0.3	
2(1)	350×2=700であることを基に、350×16の積の求め方と答えを選ぶ	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を発見し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				○	○	57.4	56.9	2.2	3.4	
2(2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる				○	○	70.2	69.1	0.8	1.3	
3(1)	作成途中の直方体の見取り図について、迎として正しいものを選ぶ	直方体の見取り図について理解し、かくことができるかどうかをみる				○	○	86.7	85.6	0.5	0.6	
3(2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる				○	○	72.6	71.3	0.6	0.8	
3(3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さや立方体の辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる				○	○	32.1	36.5	7.7	9.8	
3(4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に示して書く	五角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				○	○	73.4	72.0	1.1	1.8	
4(1)	540÷0.6を計算する	除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる				○	○	71.3	70.1	2.0	3.1	
4(2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を求める	速さが一定であることを基に、道のりと時間に関する関係について考察できるかどうかをみる				○	○	66.5	70.0	2.6	3.3	
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる				○	○	27.2	31.0		2.4	
4(4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを求める	速さの意味について理解しているかどうかをみる				○	○		51.1	4.1	4.6	
5(1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる				○	○	82.9	80.8	1.3	1.8	
5(2)	示されたデータから、1980年代のC市について、開花日が最も遅かった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを表し、表に入る数を書く	簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、読み取りやすいように分類整理することができるかどうかをみる									3.9	
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる									2.6	
5(4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報に基づき、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる									1.0	

この部分は、各問題と
学習指導要領の内容、
評価の観点、山梨と全
国の平均正答率、無解
答率等を示していま
す。問題に対する平均
正答率を示しているの
で、例えば、問題番号
3(1)では、「直方
体の見取り図について
9割近くの児童が理解
してかくことができ
ており、全国の割合を上
回っている。」という
ように、具体的な分析
につなげることができ
ます。

平均正答率だけでなく、
無解答率にも着目するこ
とで、児童・生徒の課題
が見えてきます。

全国学力・学習状況調査 自校採点について

◇全国学力・学習状況調査について

一つ一つの問題には、「児童生徒にこの資質・能力を付けたい！」というメッセージが込められています。問題の背景にあるものは、「児童生徒に付けたい資質・能力」です。

◇自校採点の目的、趣旨

児童生徒の解答を「解答類型」に分けることで、児童生徒の考えていること、つまづいていることが見えてきます。



児童生徒理解につながる！

育成したい資質・能力が明確になり、授業の組立てが変わる！

学校全体でかかわることで、より多くの教師の授業力がアップする！

⇒学校全体で授業改善・充実に向けて取り組むことになります。

「解答類型」とは？

児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理したものです。

問題番号	解答類型	正答
① (1)	1 ア と解答しているもの	◎
	2 イ と解答しているもの	
	3 ウ と解答しているもの	
	4 エ と解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

↑ これが類型番号

国立教育政策研究所「解説資料」より

◇総合教育センターでは



県内の採点抽出校の解答を早期に採点し、山梨県の成果と課題を把握しています。「授業づくりのヒント」では、早期採点を通して把握した課題に対して、授業改善に向けた授業アイデアの一例を示しています。

本調査で見られた課題は、調査の対象学年だけではなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。

リーフレット「授業づくりのヒント」が、日々の授業や研修会などで活用され、児童生徒の学習状況の改善につながることを期待しています。

◇自校採点の進め方

※「自校採点の進め方」の資料は、校務支援システムのキャビネットからダウンロードできます。

用意するもの

- ・解答用紙のコピー
- ・解説資料（国立教育政策研究所HPで公開されています）
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>



採点の仕方 ～解答類型に分ける～

1. 児童生徒の**解答を確認**する。
2. 「**解説資料**」の解答類型表を見て、該当する**類型番号を確認**する。
3. 解答欄に**類型番号を記入**する。

1. 児童・生徒の解答を確認する

令和6年度 全国学力・学習状況調査 小学校算数より

1

ゆうまさんは、折り紙で遊んでいます。

(1) ゆうまさんは、折り紙を72枚持っています。ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア $72 + 28$
 イ $72 - 28$
 ウ 72×28
 エ $72 \div 28$

児童Aの解答

児童Bの解答

児童Cの解答

(空欄のまま) →

2. 解説資料の解答類型表を見て該当する類型番号を確認する

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1	ア と解答しているもの	◎
2	イ と解答しているもの	
3	ウ と解答しているもの	
4	エ と解答しているもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

↑ これが類型番号

3. 解答欄に類型番号を記入する

児童Aの解答

児童Bの解答

児童Cの解答

(空欄のまま) 0

解答類型表

問題番号	解答類型	正答
1	ア と解答しているもの	◎
2	イ と解答しているもの	
3	ウ と解答しているもの	
4	エ と解答しているもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

・正答の場合は、類型番号を記入し、○をする

・誤答の場合は、類型番号を記入したままにする

記述式の場合

類型分けの基本は、記述の場合でも同じ！

- ・準正答(○)も正答(◎)と同様にして、類型番号に○をする。
- ・児童生徒の解答状況をよく読み取り、**できるかぎり類型99以外に振り分ける**。
- ・類型分けの判断が難しいときは、**同僚と相談しながら進める**。



◇児童生徒のつまずきの把握

つまずきのある問題を把握する視点の例

- 解答類型（誤答）に特徴がある。
 - 正答率が低い。
- など

「解答類型について」の一例

- 解答類型について
- 数量の関係をつかみにくい問題の解決において、問題の文脈に沿って図などに表し、数量の関係を捉え、式に表すことができるようにすることが大切である。
 本設問では、問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかを問うている。ここでは、二人が持っている折り紙の枚数の関係について図に表すなどして、こはるさんが持っている折り紙の枚数が、ゆうまさんが持っている折り紙の枚数より28枚多いことを捉え、加法を用いる必要がある。
 - 【解答類型1】は、こはるさんが持っている折り紙の枚数が、ゆうまさんが持っている折り紙の枚数より28枚多いことを捉え、加法を用いることができる。
- ... (R6年度小学校算数「解説資料」P12)

冊子「解説資料」の中に、「解答類型について」（予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまずき等を記述）が記載されています。

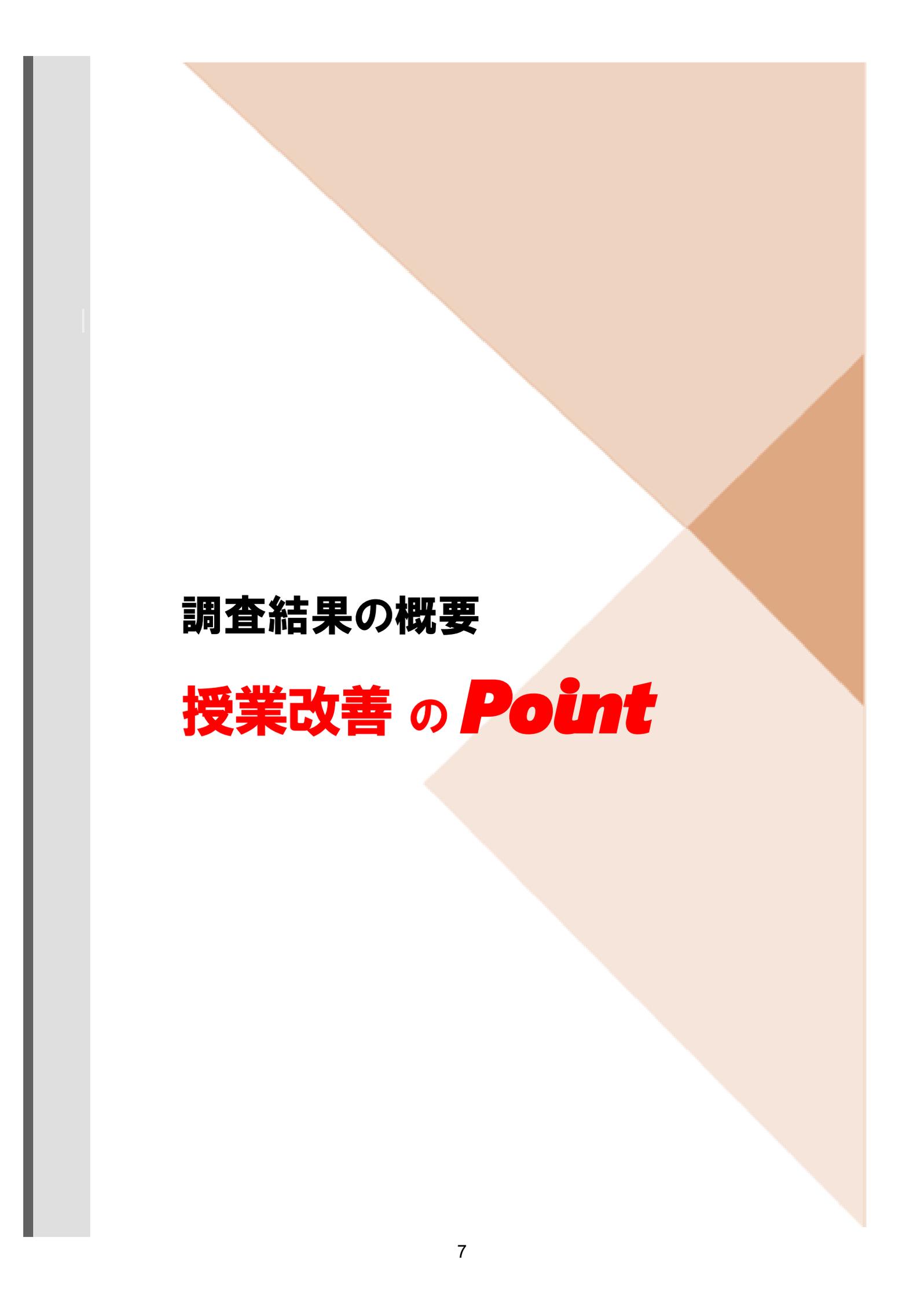
「解答類型について」を参考に、児童生徒のつまずきを把握することができます。

※「解説資料」は、国立教育政策研究所ホームページから、ダウンロードできます。



 <p>やまなし</p>	 <p>YAMANASHI PREFECTURAL EDUCATION CENTER</p>	 <p>やまなし</p>	 <p>YAMANASHI PREFECTURAL EDUCATION CENTER</p>
 <p>YAMANASHI PREFECTURAL EDUCATION CENTER</p>	 <p>やまなし</p>		
 <p>やまなし</p>			

全国学力・学習状況調査



調査結果の概要

授業改善の *Point*

令和6年度

全国学力・学習状況調査の結果概要について

山梨県教育委員会

1 調査の概要

(1) 実施日 令和6年4月18日(木)

(2) 目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・上記のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査事項

①教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ)知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記ア)とイ)を一体的に問うこととする。

②学習環境や生活の諸側面等に関する質問調査

- ・児童生徒に対する調査及び学校に対する調査

(4) 対象 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒

(5) 県内(公立学校)の実施状況

	公立小学校	特別支援学校 小学部	公立中学校	特別支援学校 中学部	合計
学校数 (分校含む)	163校	2校	79校	4校	248校
児童生徒数	5,641人		5,542人		11,183人

2 結果の概要

(1) 教科に関する調査

○令和6年度教科別調査結果（平均正答数及び平均正答率）

全ての教科において、平均正答率（本県）は平均正答率（全国）と概ね同等である。

国立教育政策研究所の令和6年度全国学力・学習状況調査報告書には、「全ての都道府県・指定都市が平均正答率の±10%の範囲内であり、大きな差は見られない。」と表記されている。

令和6年度 本県の調査結果（公立）

	小学校調査		中学校調査	
	国語	算数	国語	数学
平均正答数（本県）問	9.5/14	9.9/16	8.7/15	8.2/16
平均正答数（全国）問	9.5/14	10.1/16	8.7/15	8.4/16
平均正答率（本県）%	68	62	58	51
平均正答率（全国）%	67.7	63.4	58.1	52.5

令和5年度 本県の調査結果（公立）

	小学校調査		中学校調査		
	国語	算数	国語	数学	英語
平均正答数（本県）問	9.3/14	9.8/16	10.5/15	7.5/15	7.3/17
平均正答数（全国）問	9.4/14	10.0/16	10.5/15	7.6/15	7.7/17
平均正答率（本県）%	66	61	70	50	43
平均正答率（全国）%	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6

※都道府県の平均正答率については、文部科学省が平成29年度から整数値で公表している。

※後日実施した学校のデータは、全体の集計からは除外されている。（全国共通）

(2) 質問調査

①児童生徒質問調査

○児童生徒質問調査においては、これまで肯定的な回答が多かった、学習に対する興味関心・規範意識・自己有用感・生活習慣に関する項目について、全国平均と比べて引き続き高い傾向にある。

・児童生徒共通して、「国語の勉強は好きですか」等、国語の学習に対する興味関心に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.5 ポイント(山梨 86.5% 全国 84.0%) <R5 山梨 86.2% 全国 83.6%>

中 +1.2 ポイント(山梨 84.1% 全国 82.9%) <R5 山梨 83.5% 全国 80.6%>

・児童生徒共通して、「人が困っている時には進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」等の規範意識に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +1.1 ポイント(山梨 96.2% 全国 95.1%) <R5 山梨 95.9% 全国 94.8%>

中 +1.3 ポイント(山梨 95.0% 全国 93.7%) <R5 山梨 94.6% 全国 92.7%>

・児童生徒共通して、「自分にはよいところがあると思っていますか」「将来の夢や目標を持っていますか」等の自己有用感に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.5 ポイント(山梨 88.0% 全国 85.5%) <R5 山梨 87.2% 全国 84.9%>

中 +3.1 ポイント(山梨 83.1% 全国 80.0%) <R5 山梨 80.9% 全国 77.9%>

・児童生徒共通して、「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」等の生活習慣に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.8 ポイント(山梨 92.2% 全国 89.4%) <R5 山梨 91.0% 全国 88.5%>

中 +1.3 ポイント(山梨 89.4% 全国 88.1%) <R5 山梨 88.1% 全国 86.8%>

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

○児童生徒共通して、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）【30 分以上】」という調査項目で、ICT 機器を活用すると回答した児童生徒の割合が高くなった。

小 +4.1 ポイント(山梨 48.3% 全国 44.2%) <R5 山梨 44.9% 全国 41.1%>

中 +2.2 ポイント(山梨 38.6% 全国 36.4%) <R5 山梨 33.9% 全国 31.2%>

○児童生徒共通して、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という調査項目で、割合が高くなった。

小 +1.8 ポイント(山梨 85.3% 全国 83.5%) <R5 山梨 78.6% 全国 76.8%>

中 +4.4 ポイント(山梨 80.5% 全国 76.1%) <R5 山梨 71.5% 全国 63.9%>

②学校質問調査

○学校質問調査においては、学校運営、教職員の資質向上に関する項目について、全国平均を上回った。

- ・小学校中学校共通して、学校運営に関する項目で、全国平均を上回っている。
小 +0.3 ポイント(山梨 96.4% 全国 96.1%) <R5 山梨 93.3% 全国 95.1%>
中 +1.7 ポイント(山梨 94.6% 全国 92.9%) <R5 山梨 91.9% 全国 91.5%>
- ・小学校中学校共通して、教職員の資質向上に関する項目で、全国平均を上回っている。
小 +5.3 ポイント(山梨 97.0% 全国 91.7%) <R5 山梨 94.6% 全国 90.5%>
中 +8.5 ポイント(山梨 96.7% 全国 88.2%) <R5 山梨 94.3% 全国 86.5%>

○学校質問調査においては、家庭や地域との連携、小学校教育と中学校教育の連携に関する項目で、全国平均を下回った。

- ・小学校中学校共通して、家庭や地域との連携に関する項目で、前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなっているものの、依然として全国平均を下回っている。コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の仕組みを生かした取組の充実を図る必要がある。
小 -4.0 ポイント(山梨 84.9% 全国 88.9%) <R5 山梨 80.9% 全国 86.1%>
中 -7.0 ポイント(山梨 77.1% 全国 84.1%) <R5 山梨 66.3% 全国 79.3%>
- ・小学校中学校共通して、小学校教育と中学校教育の連携に関する項目で、全国平均を下回っている。近隣等の小学校中学校で、教育課程に関する共通した取組の充実を図る必要がある。
小 -8.3 ポイント(山梨 55.7% 全国 64.0%) <R5 山梨 58.7% 全国 60.6%>
中 -5.1 ポイント(山梨 63.9% 全国 69.0%) <R5 山梨 55.4% 全国 66.8%>

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

○小学校中学校共通して、「前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか【週3回以上】」という調査項目で、割合が高くなった。

- 小 +1.4 ポイント(山梨 94.6% 全国 93.2%) <R5 山梨 86.8% 全国 90.6%>
中 +2.0 ポイント(山梨 92.8% 全国 90.8%) <R5 山梨 89.1% 全国 86.7%>

3 令和6年度の学力向上に向けた取組

《年間を通じた取組》

1 学力向上総合対策事業の推進

- 学力向上推進事業（学力向上対策会議、学力向上フォーラム、学力向上キャラバン）
- 山梨県学力把握調査事業
（中2国数英：1人1台端末等を用いたオンライン方式で実施）
- 学力向上支援スタッフ配置事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業
- Yamanashi English Action
- 新たな学びの姿に向けた授業改善推進事業
- 少人数教育効果検証・推進事業
- 令和のやまなし教育活動モデル推進事業
- 家庭学習習慣化促進事業
- 若手教員グローアップ事業

2 地域の実態に応じた取組の実施

- ・地域学力向上推進幹を中心とした、各地域の特色や課題に焦点を当てた学力向上対策の推進

3 指導主事による学校訪問

- ・市町村、学校毎の状況を把握し、指導改善の取組の周知・徹底
- ・「子供主体の授業への転換」に向けた取組の推進

4 県内市町村におけるコミュニティ・スクールの拡大・充実

- ・国の補助金事業や「CSマイスター派遣事業」等の活用、担当指導主事による要請訪問等を通じたコミュニティ・スクールの円滑な設置の支援
- ・山梨県教育委員会と文部科学省の共催による「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」の開催

5 学級経営の充実に向けた取組の推進

- ・児童生徒が所属感、自己有用感を持つことができるよう、集団としての意見をまとめたり、個人として問題解決に向けた目標や方法・内容等を決定したりする活動を引き続き県全体で推進
- ・総合教育センターにおける特別研修会Ⅰにおいて、大学の教授を講師に招聘して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学級経営」をテーマにした研修会の実施

6 ICTを活用した指導の充実に向けた取組

- ・ICTを効果的に活用した授業づくりに関する研修会の開催
- ・教育課程研究会の実践事例の周知

《各種学力調査実施後の取組》

7 県教委による採点及び各種説明会を通じた早期の授業改善の推進

- ・自校採点の方法等についての資料を校務支援システムにて配付（各校の課題把握のための自校採点を促し、課題克服に向けた早期の授業改善につなぐ）
- ・総合教育センター指導主事（小・中・高）による全国学力・学習状況調査の早期採点及び大学と連携した結果分析
- ・結果から見られた課題と授業の改善・充実に向けた授業づくりのポイントをまとめた冊子の作成・配付
- ・授業改善のための組織的な対応を促すため、全国学力・学習状況調査の早期採点の結果を踏まえた「授業の改善・充実に向けた説明会Ⅰ」をオンラインにて開催（小・中同日：5月30日）

8 「学力向上フォーラム2024」の開催（8月22日）

- ・全国学力・学習状況調査より明らかになった課題、学校での学習と学力向上対策等についての指導主事による説明
- ・大学の教授を講師に招聘して、「学習者用デジタル教科書の活用で「子供主体の授業」への転換を加速する」をテーマにした講演とワークショップの実施

9 各種学力調査の分析結果を反映させた説明会の実施

- ・本県児童生徒の学力調査における実態と課題を共有するため、各種学力調査（全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査、山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査）の結果を踏まえた「授業の改善・充実に向けた説明会Ⅱ」をオンラインにて開催（小・中同日：8月27日）
- ・各種研修会や学校要請訪問の中で、分析結果をもとにした授業改善の取組を説明

10 「授業改善のPoint」の作成・配付

- ・授業改善に向けた取組を推進するため、全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査、山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査を踏まえた授業改善のポイント資料を小学校4教科(国・社・算・理)、中学校5教科(国・社・数・理・英)で作成し、各校に配付
- ・山梨県総合教育センターホームページ及び校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにし、各校へ周知
- ・指導主事による学校訪問等での周知・徹底

11 「ピックアップ問題」の作成・配信

- ・全国学力・学習状況調査の結果を受け、課題が見られた問題をピックアップ問題としてまとめ、校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにし、各校での活用を推進
- ・1人1台端末等での活用を推進

補助資料

1. 教科に関する調査（国語、算数・数学）の本県の結果概要

以下の3つの視点から分析を行った。

- 正 正答率が高いまたは低い主な設問
- 差 全国の正答率と差が見られる主な設問
- 経 経年比較で成果や課題が見られる主な設問

小学校

教科	よくできている設問（○） 課題がある設問（△）		正答率（％）		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ 正	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する。 〔2一（2）〕	87.5	86.9	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができている。
	△ 正 経	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く。 〔2二〕	58.3	56.6	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
算数	○ 正	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ。 〔12〕	87.3	88.5	数量の関係を、□を用いた式に表すことができている。
	△ 正 差 経	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。 〔43〕	27.2	31.0	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

中学校

教科	よくできている設問 (○) 課題がある設問 (△)		正答率 (%)		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ 正	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する。 〔3一〕	81.0	81.4	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができている。
	△ 正	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。 〔2一〕	36.1	36.3	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。
数学	○ 正	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める。 〔6 (1)〕	89.9	90.2	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができている。
	△ 正 経	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。 〔8 (2)〕	16.3	17.1	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

2. 学習環境や生活の諸側面等に関する質問調査の本県の結果概要

【質問内容の番号は各質問調査の設問番号を表す】

(1) 児童生徒質問調査

※肯定的な回答の割合が比較的高い主な項目

<上段：本県回答率 下段：全国平均との差>

<数値は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表す>

質問項目		小学校	中学校
①学習に対する興味・関心や授業の理解度等			
国語に対する興味・関心：4項目の平均		86.5%	84.1%
		2.5	1.2
(42)	国語の勉強は好きですか	65.2%	64.8%
		3.2	0.5
(43)	国語の勉強は大切だと思いますか	95.8%	95.1%
		1.3	1.2
(44)	国語の授業の内容はよく分かりますか	90.0%	84.5%
		3.7	1.8
(45)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.9%	92.0%
		1.7	1.4
算数に対する興味・関心：4項目の平均		84.2%	
		1.2	
(50)	算数の勉強は好きですか	62.1%	
		1.1	
(51)	算数の勉強は大切だと思いますか	95.3%	
		0.7	
(52)	算数の授業の内容はよく分かりますか	84.2%	
		2.1	
(53)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.0%	
		0.9	
②規範意識：3項目の平均		96.2%	95.0%
		1.1	1.3
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか	94.6%	93.1%
		1.9	3.0
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.2%	96.5%
		0.5	0.8
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.7%	95.5%
		0.8	0.3
③自己有用感：3項目の平均		88.0%	83.1%
		2.5	3.1
(9)	自分には、よいところがあると思いますか	86.4%	86.6%
		2.3	3.3
(10)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.2%	93.3%
		3.3	2.9
(11)	将来の夢や目標を持っていますか	84.4%	69.5%
		2.0	3.2

④生活習慣：3項目の平均		92.2%	89.4%
		2.8	1.3
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.2%	92.4%
		1.5	1.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	87.5%	82.5%
		4.6	1.8
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.9%	93.2%
		2.3	0.7

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

質問項目		小学校	中学校
⑤前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった項目			
(4)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）【30分以上】	48.3%	38.6%
		4.1	2.2
(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	85.3%	80.5%
		1.8	4.4

※肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

質問項目		小学校	中学校
⑥中学校の学習 数学に対する興味・関心や授業の理解度等			
数学に対する興味・関心：4項目の平均			72.8%
			-1.9
(50)	数学の勉強は好きですか		53.6%
			-3.6
(51)	数学の勉強は大切だと思いますか		86.7%
			-0.5
(52)	数学の授業の内容はよく分かりますか		73.8%
			-1.9
(53)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		76.9%
			-1.6

(2) 学校質問調査

※肯定的な回答の割合が比較的高い主な項目

質問項目		小学校	中学校
①学校運営：4項目の平均		96.4%	94.6%
		0.3	1.7
(12)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列していますか	99.4%	91.6%
		2.1	-2.4
(13)	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	99.4%	98.8%
		2.4	2.3
(14)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	99.4%	92.8%
		2.1	1.0
(75)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映をどの程度行っていますか	87.3%	95.2%
(79)		-5.5	5.9
②教職員の資質向上：3項目の平均		97.0%	96.7%
		5.3	8.5
(16)	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100.0%	100.0%
		1.4	5.2
(17)	児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	93.9%	96.3%
		3.9	10.6
(18)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）	97.0%	93.9%
		10.6	9.8

※肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

質問項目		小学校	中学校
③家庭や地域との連携			
(70)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	84.9%	77.1%
(74)		-4.0	-7.0
④小学校教育と中学校教育の連携			
(68)	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	55.7%	63.9%
(72)		-8.3	-5.1

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

⑤ICTを活用した学習状況：9項目の平均		71.7%	73.0%
		-2.2	3.2
(53) (57)	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	99.9%	100.0%
		1.1	1.4
(54) (58)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	98.2%	95.2%
		3.1	4.4
(55) (59)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	87.9%	90.4%
		-1.0	5.8
(56) (60)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか【週3回以上】	94.6%	92.8%
		1.4	2.0
(57) (61)	調査対象学年の児童が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	68.5%	71.0%
		-8.1	0.6
(58) (62)	調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	46.7%	50.6%
		-8.4	-1.3
(59) (63)	教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	60.0%	57.8%
		0.3	0.4
(60) (64)	調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	39.4%	50.6%
		-5.6	9.5
(61) (65)	調査対象学年の児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	50.3%	48.2%
		-2.5	6.0

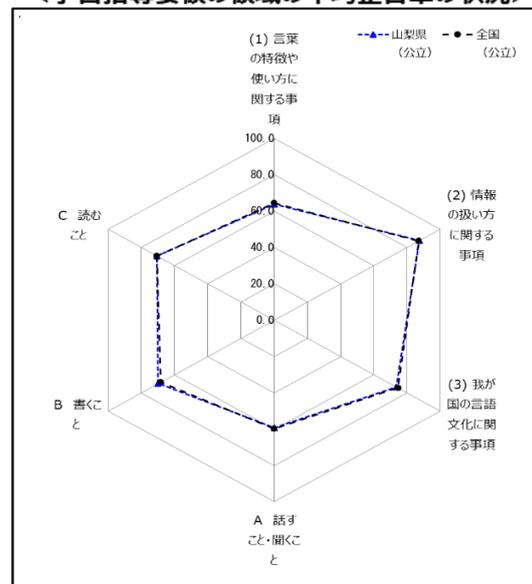
全国学力・学習状況調査 小学校 第6学年 国語

集計結果

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
山梨県 (公立)	5,641	9.5 / 14	68	10.0	3.0
全国 (公立)	947,364	9.5 / 14	67.7	10.0	3.1

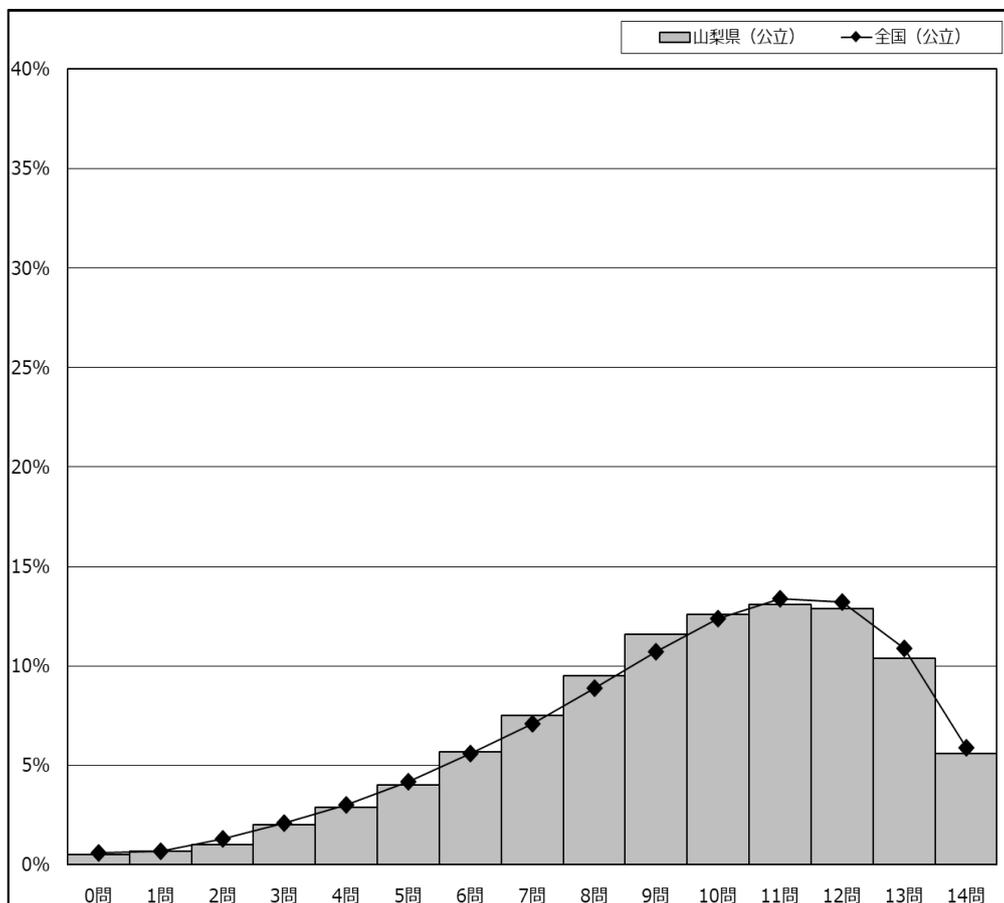
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山梨県 (公立)	全国 (公立)
全体		14	68	67.7
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	63.8	64.4
		(2) 情報の扱いに関する事項	87.5	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	73.6	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	59.3	59.8
		B 書くこと	69.9	68.4
		C 読むこと	70.5	70.7
評価の観点	知識・技能	6	69.4	69.8
	思考・判断・表現	8	66.2	66.0
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	10	69.4	69.9
	短答式	2	60.6	59.7
	記述式	2	65.2	64.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



正答数集計値・分布グラフ

正答数集計値			
正答数	児童数	割合(%)	
	山梨県 (公立)	山梨県 (公立)	全国 (公立)
14問	315	5.6	5.9
13問	585	10.4	10.9
12問	728	12.9	13.2
11問	740	13.1	13.4
10問	712	12.6	12.4
9問	656	11.6	10.7
8問	536	9.5	8.9
7問	421	7.5	7.1
6問	320	5.7	5.6
5問	226	4.0	4.2
4問	165	2.9	3.0
3問	115	2.0	2.1
2問	56	1.0	1.3
1問	37	0.7	0.7
0問	29	0.5	0.6



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等									山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
		(1)	(2)	(3)	A	B	C	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式				
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものと、適切なものを選択する				5・6 ア			○		○			61.7	62.5	0.7	0.7	
1二(1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	5・6 イ						○		○			74.6	75.9	0.5	0.6	
1二(2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する				5・6 ウ			○		○			52.5	52.9	0.7	0.7	
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものと、適切なものを選択する				5・6 ア			○		○			63.7	63.8	1.0	0.9	
2一(1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものと、適切なものを選択する				5・6 ア			○		○			81.6	80.3	0.9	0.9	
2一(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものと、適切なものを選択する		5・6 イ					○		○			87.5	86.9	0.8	0.9	
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く				5・6 ウ			○			○		58.3	56.6	3.7	4.9	
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	5・6 エ						○			○		46.6	43.4	11.4	13.2	
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す(なげる)	5・6 エ						○			○		74.6	76.0	7.4	8.0	
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する			3・4 カ				○		○			59.4	62.3	2.0	2.0	
3二(1)	「オニグモじいさん」が「八エの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する				5・6 イ			○		○			66.1	66.9	2.9	2.6	
3二(2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものと、適切なものを選択する				5・6 エ			○		○			73.3	72.5	3.2	2.9	
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く				5・6 エ			○			○		72.2	72.6	12.0	12.6	
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する			5・6 オ				○		○			73.6	74.6	9.3	7.6	

物語などを読み、複数の叙述を 結び付けて考えることができる児童

こんな姿を
目指したい



正答例 3 三

オニグモじいさんが、「食っているのはな」と言っ
てやめたところや、「食って生きているのはな、朝日
のひかりだよ」と言ったところが心に残りました。女
の子をこわがらせないようにする考え方に感動した
からです。（99字）

特徴的な誤答

ハエの女の子が、「じゃ、おじいちゃん、ひかり
をたくさん食べて、元気でくらしてね。さようなら
」と言って、はらっぱのむこうへとんでいった
ことが心に残りました。（77字）

誤答から見えるつまずき

物語を読んで、心に残ったところを、物語から言葉や文を取り上げて書いている。
しかし、心に残った理由を書いていない。
→心に残ったところとその理由を、物語から言葉や文を取り上げてまとめることが必要となる。



高学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

〔第5学年及び第6学年〕
C読むこと（1）エ

〈言語活動例〉物語を読み、心に残ったことを伝え合おう
～人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりする～

言語活動例のように、心に残ったことを伝え合うと
いう目的をもって読むことができるように、単元の
導入を工夫しましょう。

心に残った理由が明確になることを児童が実感でき
るように、交流場面を設定しましょう。

【工夫例1】これまでの学習活動を想起させる



これまでの物語の学習で、楽しかったことや
学んだことはどんなことですか。

「ごんぎつね」で、ごんと兵十の会話や情景に
着目して読んだら、気持ちの変化がよく分かり
ました。



【工夫例2】教師がモデルを示す



私が〇〇という物語を読んで心に残っている
ことは□□です。それは、・・・。

心に響いたところとその理由を明確にするために...

- 心に響く叙述を見つける ・登場人物の行動、会話、心情、相互関係 ・場面についての描写など
- 複数の叙述や場面の移り変わりを結び付ける
- 自分の知識や経験、読書体験などと結びつけるなど

【特徴的な誤答】を例に

ハエの女の子が、「じゃ、おじいちゃん、ひかりを
たくさん食べて、元気でくらしてね。さようなら」
と言って、はらっぱのむこうへとんでいったとこ
ろが心に残ったから伝えたいんだけど...



なぜ、そこが心に残ったの。

オニグモじいさんのやさしさに気づかないハエ
の女の子がかわいいと思ったんだ。



物語のオニグモじいさんとハエの女の子の会話に
着目してみると、ハエの女の子の性格がもっとは
っきりするかもしれないね。



「ほんとうに、ひかりをつかまえた！」とハエ
の女の子が言ったところも素直でかわいいな。
もう一度読んで確かめてみるね。



目的をもって読むことができるような単元の導入を工夫しよう！
交流を通して考えを明確にする場面を設定しよう！

ここが
POINT



課題のある設問 大問2二 B書くことウ 反応率の高い誤答に着目する

具体的な設問例 「たてわり遊び」に関する高山さんの文章の空欄に、次の条件に合わせた文章を書く。

- 条件① 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
- 条件② 下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
- 条件③ 60字以上、100字以内で書いている。

解答類型	反応率 (%)	正答
1 条件①、②、③を満たしているもの	58.3	◎
2 条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.8	
3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.8	
4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	32.4	
99 上記以外の解答	4.0	
0 無回答	3.7	

正答例
[正答率] 山梨県58.3 全国56.7

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれよかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができることだと思います。

誤答例
たてわり遊びをしている下級生の1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」や、3年生は「好きな遊びや新しい友達が増えた」と答えてくれました。このように、みんながたてわり遊びをしました。

「たてわり遊び」のよさについて、考えたことを書いていない解答類型4の反応率が32.4%と高い。



誤答から児童の実態を把握しましょう！

このように解答した児童の中には、事実と感想、意見とを明確に区別せずに、事実を自分の考えのように書いてしまい、条件①を満たせなかった児童がいたと考えられます。

授業をつくる 大問2二

児童の実態を踏まえた授業づくりをする

書くことB ウ 「考えの形成、記述」

◆ 児童は、取材メモに整理したことを基に、それぞれが考えた学校のよさを伝える文章を書いています。

「事実」は書けているが、「考え」を書くことにつまずいている児童への指導

一人一人の実態に応じた指導



佐藤さん

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれよかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができることだと思います。

取材メモの下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて、「たてわり遊び」のよいところを書いているな。

手立て

佐藤さんの考えを、事実や考えを書くことにつまずいている児童の指導に生かしたいな。

山梨県正答率58.3

約半数の児童は「事実」を基に「考え」を書いています。このような児童を協働的な学びの中で生かしていきましょう。



鈴木さん

その結果、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「好きな遊びや新しい友達が増えた」という3年生、「みんなが楽しそうであれよかった」という4年生がいました。

取材メモから言葉や文を取り上げて書いているけれど、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いていないな。

手立て

下級生の感想を取り上げた目的を確かめて、「たてわり遊び」のよさを考えさせよう。



高橋さん

たてわり遊びをしている1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」や、3年生「好きな遊びや新しい友達が増えた」と答えてくれました。みんなたてわり遊びを楽しんでいました。

下級生の感想から、活動を楽しめていることを書くことができているな。でも、取材メモの言葉や文を「たてわり遊び」のよさと混同し、自分の考えとして書いていないな。

手立て

みんなが活動を楽しめていることを、「たてわり遊び」のよさとして、事実と区別して書くためには、どのように工夫したらよいか気付かせたいな。



それぞれのつまずきはどこにあるかな？

授業をつくる
大問2二

児童の実態を踏まえた授業づくりをする

書くことB ウ
「考えの形成、記述」

◆ 児童は、取材メモに整理したことを基に、それぞれが考えた学校のよさを伝える文章を書いています。

「事実」は書けているが、「考え」を書くことにつまずいている児童への指導

協働・自己調整する学習



互いの文章を読み合っ、書き表し方を見直してみましょう。「学校のよさ」を伝えるために、自分の考える「学校のよさ」が書かれているか、下級生に聞いたことが「事実」として取り上げられているか、確かめてみましょう。

鈴木さん

佐藤さんのように、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くといいな。メモに書いた「伝えたいこと」をもう一度確かめよう。

修正(自己調整)

佐藤さん

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであつた」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができる場所だと思います。

高橋さん

どこが私の考えか分かりづらいな。どうしたらよいだらう。

協働

個別の指導

修正(自己調整)

その結果、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「好きな遊びや友達が増えた」という3年生がいました。たてわり遊びのよいところは、どの学年も楽しむことができる場所だと思います。

高橋さんは、「事実」と「考え」を区別して書きたいですね。みんなが楽しんでいたことを「たてわり遊び」のよさとして、文末表現を工夫して書いてみてはどうでしょう。



1年生は「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」、3年生は「好きな遊びや新しい友達が増えた」と言っていました。このように、みんなが活動を楽しむことができるのがたてわり遊びのよいところだと思います。

授業をつくる
大問2二

学習過程で育成を目指す資質・能力に基づいた指導

書くことB イ
「構成の検討」

国語科の学習過程

* 必ずしも一方向、順序性のある流れではない。

イ「構成の検討」

筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

B書くこと

題材の設定

情報の収集

内容の検討

構成の検討

考えの形成

記述

推敲

共有

みんな仲良く「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで「たてわりはん」をしています。
学校のよさ(書く目的)
「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応援の仕方を教えたり、下級生も楽しめたり、みんなが仲良く考えたりします。
運動会のよさ
「みんなであつた」という3年生や、「下級生とあつて仲良くあつて仲良くなる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになる場所だと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、下級生がボールをくふうしたりしています。
たてわり遊びのよさ

学校のよさが伝わるように、それぞれの段落でどのような内容を書こうと考えますか？



始めに、学校のよさを書いて、次に、「運動会」のよさを書き、最後に、「たてわり遊び」のよさを書くようにしたいな。



鈴木さん

私は、始めに、「運動会」のよさと「たてわり遊び」のよさを書いて、最後に学校のよさを書くようにしましょう。

高橋さん



書く目的を明確にし、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを、児童が考える場面を大切にしましょう

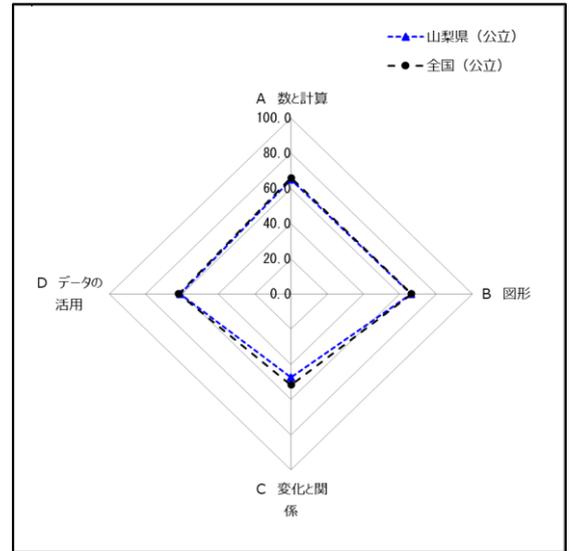
全国学力・学習状況調査 小学校 第6学年 算数

集計結果

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
山梨県 (公立)	5,641	9.9 / 16	62	10.0	3.7
全国 (公立)	947,579	10.1 / 16	63.4	11.0	3.9

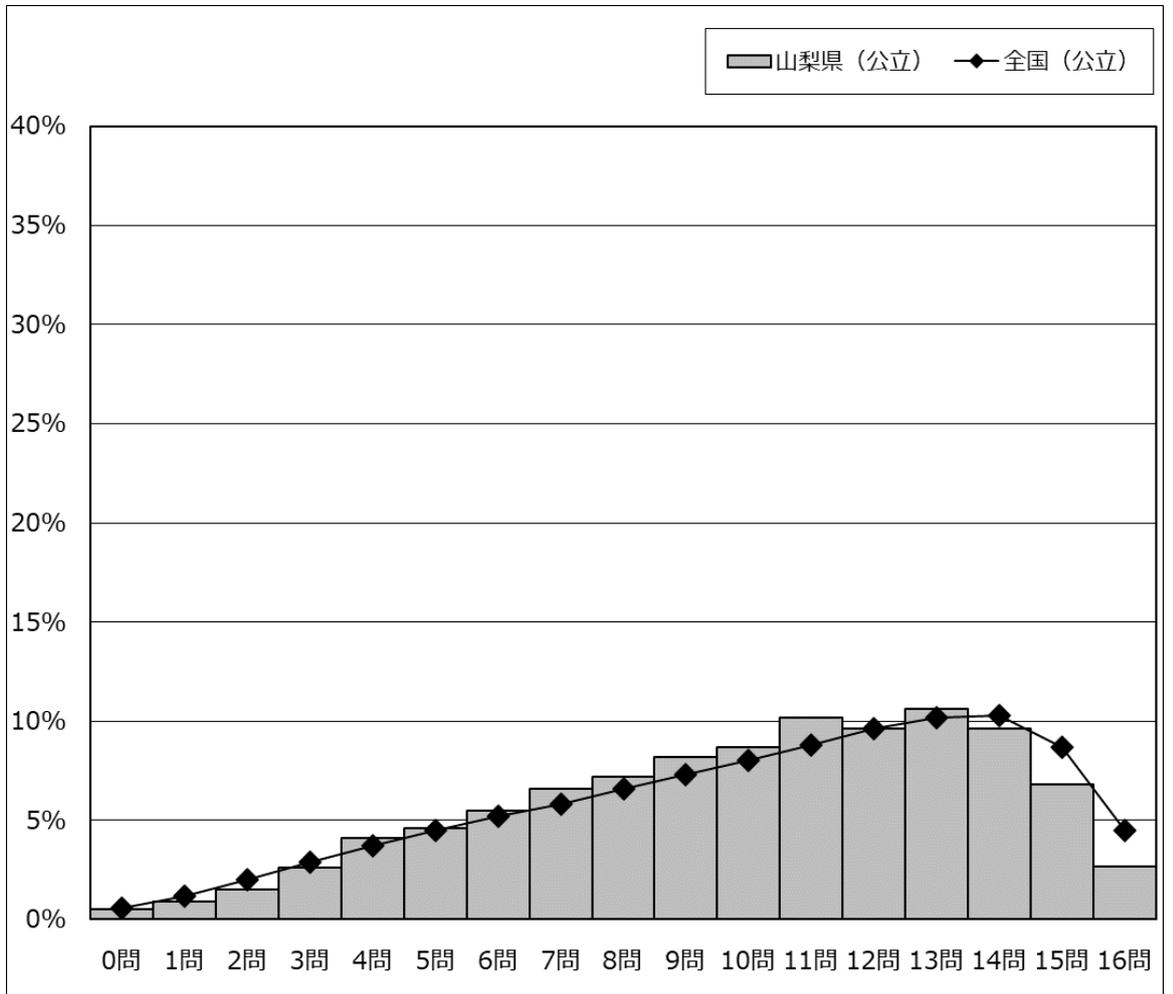
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山梨県 (公立)	全国 (公立)
	全体	16	62	63.4
学習指導要領 の領域	A 数と計算	6	64.9	66.0
	B 図形	4	66.2	66.3
	C 測定	0		
	C 変化と関係	3	47.3	51.7
	D データの活用	4	61.0	61.8
評価の観点	知識・技能	9	72.3	72.8
	思考・判断・表現	7	49.1	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	74.8	75.3
	短答式	7	60.1	62.0
	記述式	4	49.8	51.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



正答数集計値・分布グラフ

正答数集計値			
正答数	児童数	割合(%)	
	山梨県 (公立)	山梨県 (公立)	全国 (公立)
16問	154	2.7	4.5
15問	384	6.8	8.7
14問	540	9.6	10.3
13問	597	10.6	10.2
12問	543	9.6	9.6
11問	574	10.2	8.8
10問	492	8.7	8.0
9問	462	8.2	7.3
8問	406	7.2	6.6
7問	374	6.6	5.8
6問	313	5.5	5.2
5問	261	4.6	4.5
4問	230	4.1	3.7
3問	149	2.6	2.9
2問	83	1.5	2.0
1問	50	0.9	1.2
0問	29	0.5	0.6



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
		A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む	選択式	短答式	記述式	山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
1(1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	2(2) ア(1)					○			○			57.4	62.1	0.2	0.2
1(2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	3(7) ア(ア)					○			○			87.3	88.5	0.3	0.3
2(1)	$350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く	3(3) イ(ア)					○				○		57.4	56.9	2.2	3.4
2(2)	除数が $1/10$ になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	5(3) ア(ア)					○			○			70.2	69.1	0.8	1.3
3(1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	4(2) ア(ア) ア(イ)					○			○			86.7	85.5	0.5	0.6
3(2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	5(1) ア(1)					○			○			72.6	71.3	0.6	0.8
3(3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	3(1) ア(1) イ(ア) 5(4) ア(1) イ(ア)					○				○		32.1	36.5	7.7	9.8
3(4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	5(2) ア(ア) イ(ア)					○				○		73.4	72.0	1.1	1.8
4(1)	$540 \div 0.6$ を計算する	5(3) ア(イ)					○			○			71.3	70.1	2.0	3.1
4(2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く			5(1) イ(ア) 5(2) イ(ア)			○			○			66.5	70.0	2.6	3.3
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く			5(2) ア(ア) イ(ア)			○				○		27.2	31.0	1.8	2.4
4(4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く			5(2) ア(ア)			○				○		48.1	54.1	4.1	4.6
5(1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く				5(1) ア(ア)		○			○			82.9	80.8	1.3	1.8
5(2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く				3(1) ア(ア)		○			○			73.9	73.3	3.1	3.9
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く				3(1) イ(ア) 4(1) ア(イ)		○				○		41.3	44.0	10.2	12.6
5(4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	2(1) イ(ア)				3(1) ア(ア)	○			○			45.9	49.3	3.8	4.0

数学的な表現を用いて 筋道を立てて考察し、説明できる児童

こんな姿を
目指したい



正答例 4（3） 【番号】 1（かなたさん）

- ① かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900+300=1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです。
※ かなたさんとほのかさんのそれぞれの歩く速さを基に、理由を書いている正答も考えられます。

特徴的な誤答 【番号】 1

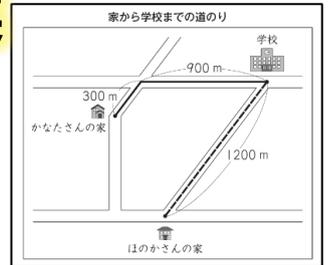
かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。だから、かなたさんのほうが速いです。

誤答から見えるつまづき

かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことは分かっているが、かなたさんのかかった時間がほのかさんのかかった時間よりも短いことは記述できていない。

5 学年の学習で 日々の学習における改善・充実

かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いていきました。家から学校までの道のりは、右の図のとおりです。家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分かかりました。それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

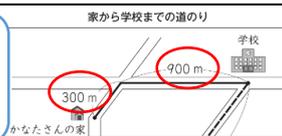


かなたさんの方が速いと思います。

なぜ、そのように考えたのですか。

2人とも歩いた道のりは同じだからです。

かなたさんの歩いた道のりは300+900で表せます。



道のりが等しいのは分かるけど、**どうして**かなたさんの方が速いと分かるのですか。

それは、ほのかさんの方が1200mを歩くのに時間がかかったからです。

	時間 (分)	道のり (m)
かなた	20	1200
ほのか	24	1200

歩いた道のりは同じだけど、かなたさんの方が歩いた時間は短いから、速いといえます。

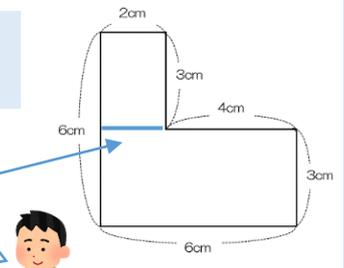
同じ

他学年でも 4 学年の学習で...

右の図のような形の面積を求めましょう。

横に切って分けて考えました。

直線で分けると、2つとも長方形になったね。



式にすると、 $3 \times 2 + 3 \times 6$ になると思います。

3×2 はどう考えたのだろう...

3×2 とはどういうことですか。

分けてできた2つの長方形のうち、上の長方形の面積を求めました。

それなら、 3×6 は下の長方形の面積を求める式ということですね。

横に切って長方形の形をもとにして考えると、 $3 \times 2 + 3 \times 6$ という式で表せるんですね。

根拠を明らかにして

筋道を立てて説明する場面を設定しよう！

ここが
POINT

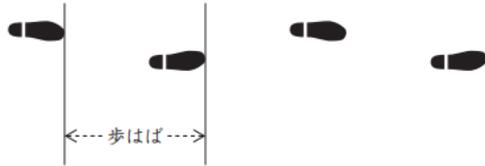


4

あいなさんたちは、時間や速さなどについて考えています。

(1) あいなさんは、家から学校までの歩数を求めます。

家から学校までの道のりは、540 mです。あいなさんの歩はばを0.6 mとします。



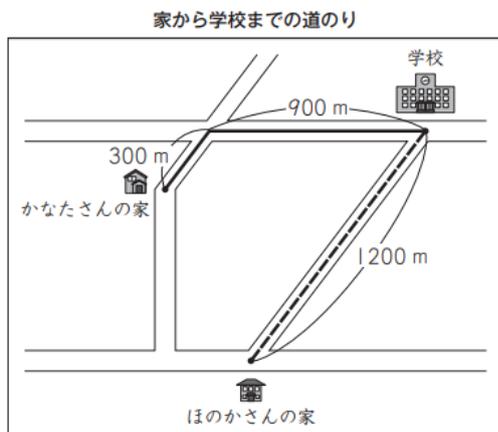
家から学校までの歩数は、 $540 \div 0.6$ の式で求めることができます。

$540 \div 0.6$ を計算しましょう。

(2) たけるさんは、3分間で180 m歩きました。同じ速さで歩き続けると、180 mを歩くのに何分間かかりますか。

答えを書きましょう。

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

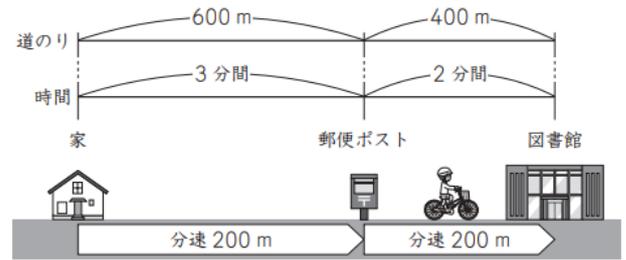
それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の **1** と **2** から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1** かなたさん
- 2** ほのかさん

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600 mで、3分間かかり、速さは分速200 mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400 mで、2分間かかり、速さは分速200 mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何 mですか。

答えを書きましょう。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 3（3） 第3学年 B 図形
第5学年 B 図形

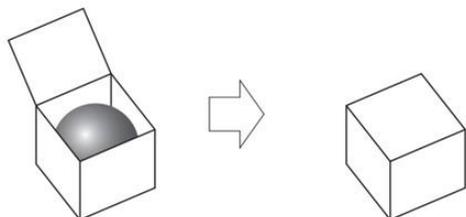
球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm³かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



<正答>

$$22 \times 22 \times 22$$

(解答類型 1)

県正答率 32.1%
(全国正答率 36.9%)

○特徴的な誤答例①：

解答類型 7 3.14を用いた式を解答している 県反応率 18.8%
【解答例】 22×3.14 (全国反応率 15.9%)

分析と課題

- ・球の直径の長さや円周率から体積を求めることができると誤って捉えていると考えられる。
- ・図形を構成する要素から、体積を求めるために必要な情報を判断できていないと考えられる。



○特徴的な誤答例②：

解答類型 99 解答類型 1～7 以外の解答 県反応率 29.3%
【解答例】 22×6 (全国反応率 26.2%)

分析と課題

- ・球の直径の長さや立方体の面の数から体積を求めることができると誤って捉えていると考えられる。

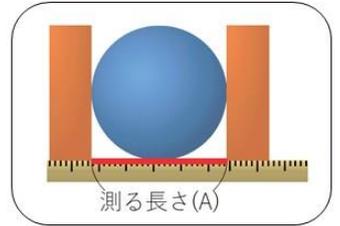
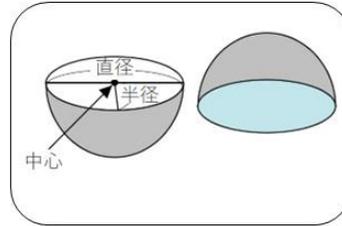
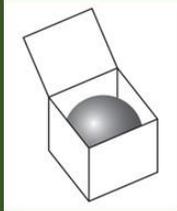


身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが大切です。



立方体の一辺の長さと、球の直径の長さの関係を捉える。

立方体の形をした箱の体積を求めましょう。箱の中には、直径8 cmの球の形をしたボールがぴったり入っています。



立方体の体積を求めるのだから、一辺の長さが分かればいいね。

でも、直径の長さしか分かっていないね。

球の直径は、どこだったでしょうか。

球を半分に切った時、切り口の円はいちばん大きくなります。

球にも中心と半径と直径がありました。

球の直径の長さを調べるときはこの部分(A)を測っていました。

ボールがぴったり入っているから、立方体の一辺の長さは球の直径の長さと同じになります。

球の直径とその測り方について振り返り、立方体の体積を求めるために必要な長さと球の直径の長さが関係していることに気づき、球の直径の長さを用いて立方体の辺の長さを見いだすことができるようにすることが大切です。

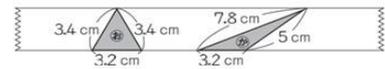
図形を構成する要素を見だし、活用すること

本設問と、令和5年度【小学校】算数2(4)は共に図形の体積や面積を求めるために、必要な情報を自ら選び出す設問である。選び出すためには**図形の意味や性質の理解を深め、図形を構成する要素を見だし、活用できるようにすることが大切です。**

例えば、下の表のような図形の意味や性質、体積や面積の求め方について理解を深め、問題解決に活用できるようにすることが大切です。

令和5年度【小学校】算数2(4)

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような①と②の2つの三角形をつくります。



上の①と②の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ①の面積のほうが大きい。
- 2 ②の面積のほうが大きい。
- 3 ①と②の面積は等しい。
- 4 ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

令和6年度【小学校】算数3(3)	球	直径	● 球の直径の長さについて、球を立方体などの立体ではさむなどの活動によって調べること
	立方体	立方体の体積	● 立方体について、体積を計算によって求めること ● 体積の単位や立方体を構成する要素に着目して体積の求め方を考えること
令和5年度【小学校】算数2(4)	三角形	底辺・高さ	● 三角形の底辺や高さの関係の理解を確実にすること
		三角形の面積	● 三角形について、面積を計算によって求めること

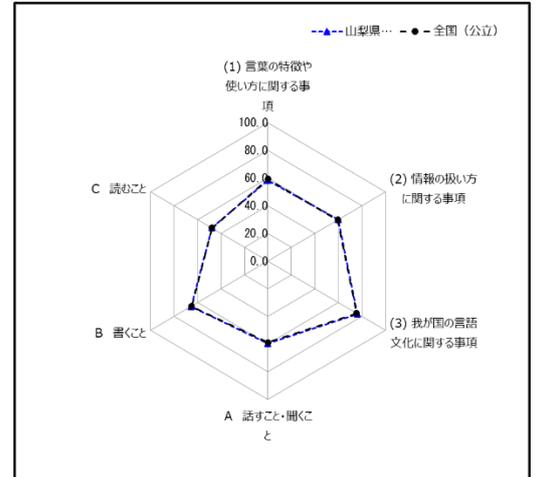
全国学力・学習状況調査 中学校 第3学年 国語

集計結果

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
山梨県 (公立)	5,539	8.7 / 15	58	9.0	3.3
全国 (公立)	875,574	8.7 / 15	58.1	9.0	3.4

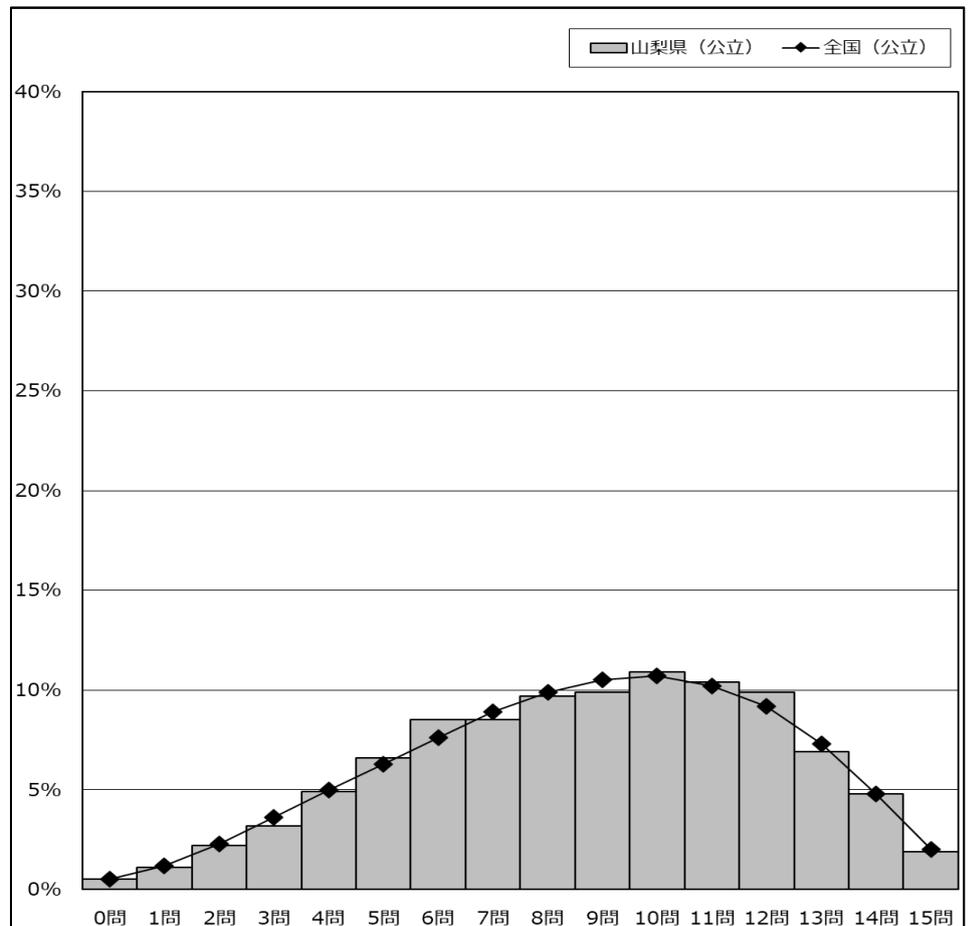
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山梨県 (公立)	全国 (公立)
全体		15	58	58.1
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	58.3	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	59.9	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	76.4	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	59.6	58.8
		B 書くこと	65.7	65.3
		C 読むこと	48.0	47.9
評価の観点	知識・技能	6	61.9	62.0
	思考・判断・表現	9	55.8	55.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	9	61.4	61.0
	短答式	3	60.4	61.8
	記述式	3	46.7	45.5

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



正答数集計値・分布グラフ

正答数集計値			
正答数	生徒数	割合(%)	
	山梨県 (公立)	山梨県 (公立)	全国 (公立)
15問	105	1.9	2.0
14問	267	4.8	4.8
13問	384	6.9	7.3
12問	548	9.9	9.2
11問	576	10.4	10.2
10問	606	10.9	10.7
9問	551	9.9	10.5
8問	537	9.7	9.9
7問	472	8.5	8.9
6問	469	8.5	7.6
5問	363	6.6	6.3
4問	270	4.9	5.0
3問	177	3.2	3.6
2問	124	2.2	2.3
1問	61	1.1	1.2
0問	29	0.5	0.5



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
		(1)	(2)	(3)	A	B	C										
1一	話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する				1 エ			○		○			66.3	63.2	0.2	0.4	
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む				2 ウ			○			○		66.9	68.5	2.7	3.5	
1三	話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する		1 ア					○		○			44.7	44.0	0.3	0.5	
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く				1 オ			○			○		45.6	44.7	7.8	9.9	
2一	本文中の図の役割を説明したのとして適切なものを選択する						2 ウ	○		○			36.1	36.3	0.3	0.5	
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したのとして適切なものを選択する		2 ア					○		○			75.2	75.2	0.3	0.6	
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する						2 ア	○		○			64.4	64.5	0.3	0.6	
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する						1 ウ	○			○		43.9	42.6	8.5	8.4	
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する				1 ア			○		○			81.0	81.4	0.5	0.7	
3二	物語の下書きについて、文中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する		2 オ					○		○			52.1	53.8	0.8	1.0	
3三	漢字を書く(みちたりた)		2 ウ					○			○		66.5	68.8	10.1	10.2	
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する						2 ウ	○			○		50.4	49.3	13.4	15.0	
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する		1 オ					○		○			56.4	54.9	1.8	1.8	
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える						1 イ	○			○		47.7	48.3	3.5	3.4	
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する			1 エ(イ)				○		○			76.4	75.6	2.4	2.3	

目的や相手に応じて、文章中から 必要な情報を取り出すことができる生徒

こんな姿を
目指したい



正答例 2 四

ア 葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると述べている。

誤答から見えるつまずき

・【取り上げる情報が不足】

選んだ〈着目する内容〉について、取り上げる情報が目的や相手に応じて十分ではなかったり、文章の内容を誤って捉えていたりするなど、必要な情報を適切に取り上げて書くことができていない。

・【内容を誤って捉えている】

文章中に出てくる「二次元的」「三次元的」「多様性」「共通性」「普遍性」といった文章中のキーワードがどのように使われているかを理解し、筆者の考えを正しく捉えることができていない。

特徴的な誤答

ア 筆者は、葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分け、前者には共通性、後者には多様性という特徴があると述べている。

→ 文章中の情報を取り上げているが、内容を正しく捉えられていない

1 学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

○ 言語活動例

「植物の形には意味がある」を読み、理解したことを報告しよう。

言語活動
を通して

第1学年 C読むこと(1)ウ

目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写を結び付けたりして、内容を解釈すること。

資質・能力
を育成する

取り上げた情報が正しく捉えられているか吟味することができるようにしましょう。



読んだことのない人に内容を理解してもらうために、「葉の形」と「特徴」を整理していきましょう。



文章中の情報がどのような関係で使われているか表にまとめた方がわかりやすそうだね。

葉の形	二次元的な形容	三次元的な形容
特徴	共通性	多様性

取り上げた情報を表にまとめることで、「葉の形」と「特徴の関係」が一目で見てわかりやすいですね。では、取り上げた情報が読んだことのない人へ伝えるために正確なものか確認してみましょう。



「葉の形」については、「二次元的」と「三次元的」のグループ分けでよさそうですね。でも、「特徴」として取り上げた「共通性」と「多様性」について、葉の形との関係は適切でしょうか。

<日常的に実践できること...>

- ・ 新聞記事やニュースの内容を要約する
- ・ 文学作品のあらすじを指定の字数でまとめる
- ・ 図表を用いながら情報を整理する
- ・ 1分間で自分の考えをスピーチする

目的や相手に応じて必要な情報を取り出し、その情報が適切なものであるか考える学習課題を設定しよう！

ここが
POINT



②

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔蘭池公毅〕植物の形には意味がある」による。

〔蘭池公毅〕植物の形には意味がある」による。

〔蘭池公毅〕植物の形には意味がある」による。

四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで（どちらを選んでもかまいません）要約しなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、一本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて。
イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

〈着目する内容〉

① ②

← 選んだ〈着目する内容〉を塗りつぶしなさい。

学習指導要領における領域・指導事項

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと (1)

ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。

これからの授業構想に向けて（考えの形成の重視）

中学校では、伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書いたり話したりすることや、複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすること、文章を読んで根拠の明確さや論理の展開、表現の仕方等について評価することなどに課題があることが明らかになっている。

全ての領域において、自分の考えを形成する学習価値を重視し、「**考えの形成**」に関する指導事項を位置付けた。

	学習過程	(1)指導事項		
		第1学年	第2学年	第3学年
A 話すこと・聞くこと	話すこと	イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。	イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。	イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。
	聞くこと	エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて自分の考えをまとめること。	エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。
	話し合うこと	オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。	オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。	オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。
B 書くこと	考えの形成、記述	ウ 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。
C 読むこと	考えの形成、共有	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。	オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。

これからの授業構想に向けて（具体的な設問と結果から）

【全国学力・学習状況調査】

大問2 設問一	〔第2学年〕 Cウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。
大問2 設問四	〔第1学年〕 Cウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして内容を解釈すること。
大問3 設問四	〔第2学年〕 Bウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

【山梨県学力把握調査】

大問1 設問3	〔第1学年〕 Aオ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。
大問3 設問1	〔第1学年〕 Cウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして内容を解釈すること。

- ・ **文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。**
- ・ **目的に応じて必要な情報に着目して要約する。**
- ・ **全ての領域において、考えの形成を重視する。**



これからの授業構想に向けて（授業アイデア）

全国学力・学習状況調査 授業改善のポイント（調査問題②④）

目的や相手に応じて、文章中から必要な情報を取り出すことができる生徒

読者の意図を把握する、二次元的な読者のグループと三次元的な読者のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると考えている。

読者の意図を把握する、二次元的な読者のグループと三次元的な読者のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると考えている。

「取り上げる情報が不足」
 読んだことのない人に内容を理解してもらうために、「葉の形」と「特徴」を整理していきましょう。

「文章中の情報がどのような関係で使われているか表にまとめた方がわかりやすそうだね。」

「葉の形」については、「二次元的」と「三次元的」のグループ分けでよさそうですね。でも、「特徴」として取り上げた「共通性」と「多様性」について、葉の形との関係は適切でしょうか。

「取り上げた情報を表にまとめることで、「葉の形」と「特徴の関係」が一目で見てわかりやすいですね。では、取り上げた情報が読んだことのない人へ伝えるために正確なものが確認してみよう。」

「葉の形」については、「二次元的」と「三次元的」のグループ分けでよさそうですね。でも、「特徴」として取り上げた「共通性」と「多様性」について、葉の形との関係は適切でしょうか。

「葉の形」については、「二次元的」と「三次元的」のグループ分けでよさそうですね。でも、「特徴」として取り上げた「共通性」と「多様性」について、葉の形との関係は適切でしょうか。

目的や相手に応じて必要な情報を取り出し、その情報が適切なものであるか考える学習課題を設定しよう！

葉の形	二次元的な形容	三次元的な形容
特徴	共通性	多様性

ここが POINT

授業づくりのヒント



これからの授業構想に向けて（授業アイデア）

県学力把握調査 授業改善のポイント（調査問題通し番号3）

話し合いの話題や展開を捉えながら、発言を結び付けて自分の考えをまとめることができる生徒

課題がある設問（通し番号3）
 話し合いの話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかを見る設問。

分析と課題
 話し合いに参加していても、話題を意識しながら話し合うことに課題がある。また、他者の発言を結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。

話し合いを深め、話題についての自分の考えを振り返る機会を設定する

教師が振り返るポイントを明らかにして、生徒が学習を振り返る機会を設定する

目的や相手に応じて必要な情報を取り出し、その情報が適切なものであるか考える学習課題を設定しよう！

授業アイデア例 話し合いの話題や展開を捉えながら、発言を結び付けて自分の考えをまとめる

【本アイデア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】
 設問4 正答率 45.1%
 (第1学年) 思考力、判断力、表現力等 A
 才 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

【教材】 ● 教師が作成した話し合いの話題に関する資料、教科書に掲載されている話し合いの話題に関する資料
 ※ 本アイデア例では、令和6年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語【フィールドワーク観察の資料】を参考にして作成した【エコーチェンバー現象の資料】を用いている。

【学習の流れ】
 第1時
 ① 学習の見通しをもつ。
 授業や生徒会活動などで、資料を基に議題を決めて話し合うことがある。そのように工夫する

【本アイデア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】
 設問4 正答率 49.8%
 (第2学年) 思考力、判断力、表現力等 B
 ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考慮して描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

【教材】 ● 令和6年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語【改定】
 ※ 本アイデア例では、調査問題の【ノートの一部】、【物語の下書き】を一筆改定したものを採用している。

【学習の流れ】
 第1時
 ① 学習内容と言語活動を確立し、学習の見通しを立てる。
 (学習内容) 表現の効果を考慮して描写するなど、自分の考えが伝わる文章にするための工夫をする。
 (言語活動) 体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く。
 体験を基に、身近なものを登場人物にした物語を創作します。次の(中学生が書いた物語)と、物語を書くための(構想メモ)を振り返りましょう。

【中学生が書いた物語】

【構想メモ】

- ・「考えの形成」は考えを表出させて終わりではない。
- ・生徒の「振り返り」は「何を」振り返ればいいのかを明確に。

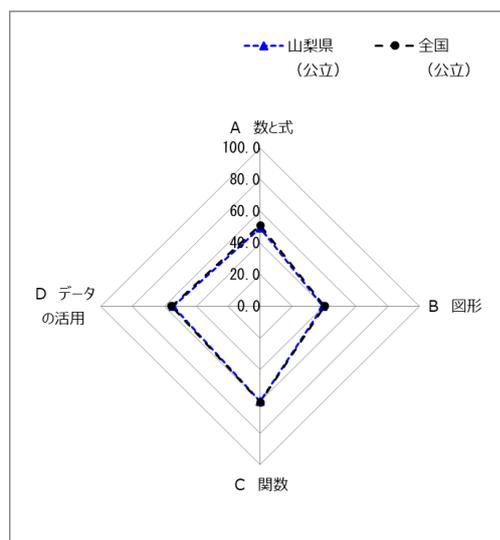
全国学力・学習状況調査 中学校 第3学年 数学

集計結果

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
山梨県 (公立)	5,542	8.2 / 16	51	8.0	4.1
全国 (公立)	875,952	8.4 / 16	52.5	8.0	4.1

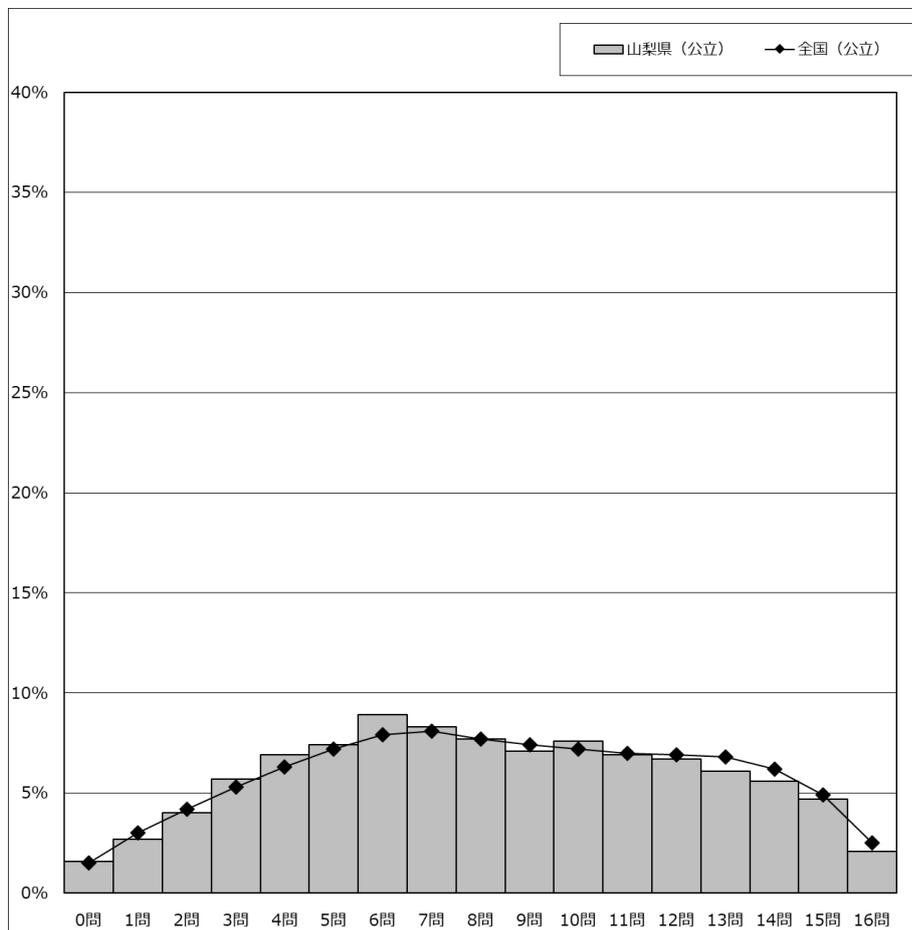
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山梨県 (公立)	全国 (公立)
全体		16	51	52.5
学習指導要領 の領域	A 数と式	5	49.4	51.1
	B 図形	3	39.3	40.3
	C 関数	4	60.2	60.7
	D データの活用	4	54.4	55.5
評価の観点	知識・技能	11	61.9	63.1
	思考・判断・表現	5	28.5	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	57.5	58.5
	短答式	6	65.6	67.0
	記述式	5	28.5	29.3

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



正答数集計値・分布グラフ

正答数集計値			
正答数	生徒数	割合(%)	
	山梨県 (公立)	山梨県 (公立)	全国 (公立)
16問	114	2.1	2.5
15問	260	4.7	4.9
14問	311	5.6	6.2
13問	339	6.1	6.8
12問	374	6.7	6.9
11問	381	6.9	7.0
10問	419	7.6	7.2
9問	395	7.1	7.4
8問	426	7.7	7.7
7問	462	8.3	8.1
6問	494	8.9	7.9
5問	412	7.4	7.2
4問	381	6.9	6.3
3問	316	5.7	5.3
2問	221	4.0	4.2
1問	149	2.7	3.0
0問	88	1.6	1.5



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
		A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	2(1) ア(イ)				○				○		32.8	34.8	12.2	14.3
2	等式 $6x + 2y = 1$ をyについて解く	2(1) ア(エ)				○				○		50.0	52.5	9.0	9.7
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ		1(1) ア(イ)			○			○			68.8	68.3	0.3	0.3
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ			2(1) ア(ア)		○			○			64.7	65.3	0.7	0.7
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める				2(2) ア(イ)	○				○		68.9	73.1	4.0	4.2
6(1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	1(1) ア(イ)				○				○		89.9	90.2	2.0	2.5
6(2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	2(1) イ(イ)				○				○		33.7	35.9	22.6	23.5
6(3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	2(1) イ(イ)				○				○		40.8	41.8	29.0	29.6
7(1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める				小6 (1) ア(ア)	○				○		75.0	74.3	4.5	5.8
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する				2(1) イ(ア)	○				○		26.8	25.9	25.5	29.4
7(3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ				2(1) ア(ア)	○			○			46.7	48.5	0.7	0.9
8(1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ			2(1) ア(ア)		○			○			82.9	83.4	0.6	0.8
8(2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する			2(1) イ(イ)		○				○		16.3	17.1	16.7	16.4
8(3)	結衣さんがかけたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く			2(1) ア(ア)		○				○		76.9	76.9	3.2	3.8
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	2(2) イ(イ)				○				○		25.0	25.8	29.8	33.6
9(2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	2(2) ア(イ) イ(ア)				○			○			24.2	26.7	5.2	4.5

予想した事柄が成り立つことを、 論理的に考察し表現することができる生徒

こんな姿を目指したい



正答例 ⑨（1）

正三角形の辺はすべて等しいから
 $AC=PC$ …①
 $CQ=CB$ …②
 正三角形の1つの内角は 60° より
 $\angle ACQ=60^\circ + \angle PCQ$
 $\angle PCB=60^\circ + \angle PCQ$
 よって、 $\angle ACQ=\angle PCB$ …③
 ①、②、③より
 2組の辺とその間の角がそれぞれ
 等しいから
 $\triangle QAC \cong \triangle BPC$

特徴的な誤答

仮定より、
 $AC=PC$ …①
 $CQ=CB$ …②
 $\angle ACQ$ と $\angle PCB$ は 60°
 だから
 $\angle ACQ=\angle PCB$ …③

誤答から見えるつまずき

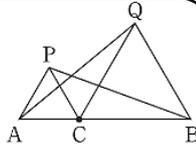
成り立たないことや証明し
 ていないことを用いたり、
 誤った根拠を記述したりし
 ている。

図形領域 の学習で…

日々の学習における改善・充実

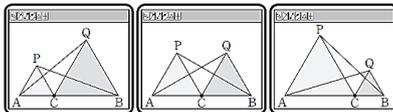
発表後、桃子さんの予想について議論する場面

線分 AB 上に点 C をとり、
 AC 、 CB をそれぞれ1辺と
 する正三角形 PAC 、 QCB を、
 線分 AB について同じ側に
 つくります。そして、点 A と
 点 Q、点 B と点 P を結びます。ただし、点 C は
 点 A、B と重ならないものとします。



作図ツールソフトを使って図をかき、点 C を動かし
 ながら線分や角についてどんな性質が成り立っている
 か調べてみましょう。

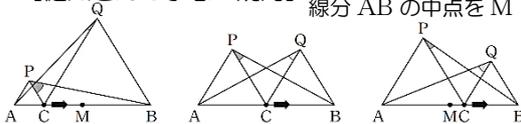
【桃子さんの予想】



点 C が線分 AB 上のどこにあっても、
 AQ と PB の長さは等しくなっている。
 どうして、いつでも等しくなるのかな。



【健太さんの予想・疑問】



- 点 C が線分 AB の中点のとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ は等しく、どちらも 30° になっている。
- 点 C が点 A から点 B に近づくにつれて $\angle AQC$ は大きくなり、 $\angle BPC$ は小さくなっていく。

これらのことから、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について、どんな性質が成り立っているといえるかな。



桃子さん、調べて気付いたことを発表してください。

$\triangle QAC$ と $\triangle BPC$ の合同を示すこと
 とで、 AQ と PB の長さがいつでも
 等しくなることがいえるね。

$\angle ACQ=\angle PCB$ の根拠は、
 どうなるのかな。

$\angle ACQ=\angle PCB$ の根拠は、このようになるよ。

正三角形の1つの内角は 60° より、
 $\angle ACQ=60^\circ + \angle PCQ$ 、
 $\angle PCB=60^\circ + \angle PCQ$

$AQ=PB$ と予想したことが、いつでも成り立つことを
 を証明してみましょう。

【桃子さんの予想の証明】

$\triangle QAC$ と $\triangle BPC$ において
 正三角形の辺はすべて等しいから
 $AC=PC$ …①
 $CQ=CB$ …②
 正三角形の1つの内角は 60° より、
 $\angle ACQ=60^\circ + \angle PCQ$
 $\angle PCB=60^\circ + \angle PCQ$
 よって、 $\angle ACQ=\angle PCB$ …③
 ①、②、③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから
 $\triangle QAC \cong \triangle BPC$
 合同な図形の対応する辺は等しいから
 $AQ=PB$

桃子さん



健太さんの発表後、その予想・疑問について議論する場面

点 C が線分 AB 上
 のどこにあっても、
 $\angle AQC$ と $\angle BPC$
 の和は 60° になっ
 ているよ。

どうして、
 いつでも 60°
 になるのかな。

$\angle AQC + \angle BPC = 60^\circ$ と予想したことが、いつ
 ても成り立つことを証明してみようよ。

予想した事柄が成り立つかどうかを考え、
 それを説明する場面を設定しよう！

ここが
POINT



9 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。

桃子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。

図1

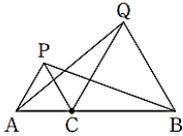
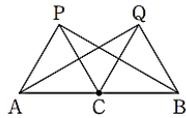
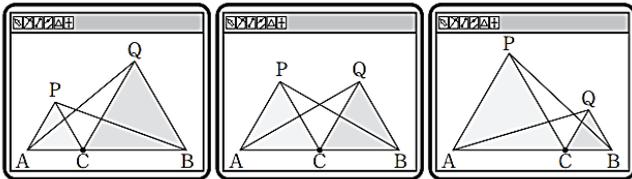


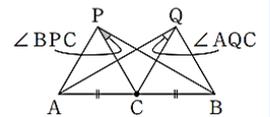
図2



二人は図1と図2を観察し、線分や角についていえることがないか気になりました。そこで、コンピュータを使って点Cを動かしながら調べました。

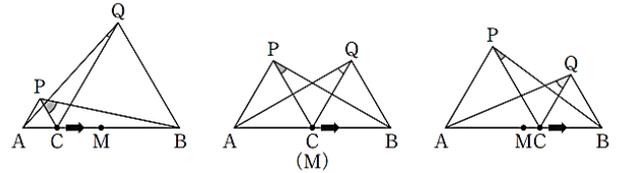


(2) 健太さんは、線分ABの中点に点Cをとった場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ が等しく見えたことから、他の場合にはどうなるか気になりました。



そこで、次の図3のように、線分ABの中点をMとして、点Aから点Bの方向へ点Cを動かした場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさがどうなるかを調べ、下のようにまとめました。

図3



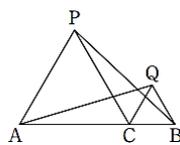
調べたこと

- 点Cが点Aから点Bに近づくにつれて、 $\angle AQC$ は大きくなり、 $\angle BPC$ は小さくなる。
- 点Cが線分ABの中点のとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ は等しく、どちらも 30° である。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 桃子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ = PB$ になると予想しました。

桃子さんの予想した $AQ = PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \cong \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ = PB$ になることの証明を完成しなさい。



証明

$\triangle QAC$ と $\triangle BPC$ において、

合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $AQ = PB$

健太さんは、前ページの調べたことから、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について何かいえることがないか考えています。

このとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について、次のことがいえます。

- ◎ 点Cが点Aと中点Mの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は ① 。
- ◎ 点Cが中点Mと点Bの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は ② 。

上の ① 、 ② のそれぞれに当てはまるものを、下のアからエまでの中から1つずつ選びなさい。

- ア 60° より大きい
- イ 60° より小さい
- ウ 60° になる
- エ 60° より大きいことも小さいこともある

【関数】大問8（1）第2学年

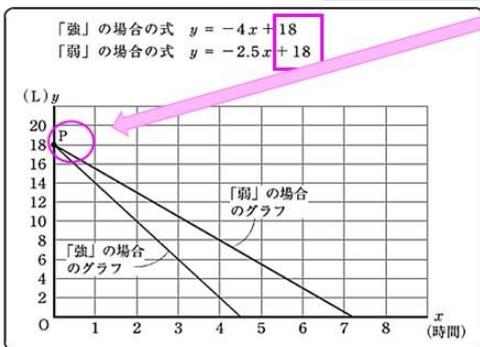
県 82.9% 全国 83.4%

【設問】ストーブの使用時間と灯油の残量の「強」の場合と「弱」の場合を表すグラフにおいて、 y 軸と交わる点Pの y 座標の値が何を表すかを選択する。

8 第一中学校の文化祭では、会場の体育館を暖めるために、灯油を燃料とする大型のストーブを設置します。文化祭当日は、体育館を6時間使用します。文化祭の実行委員の結衣さんは、18 Lの灯油が入ったストーブの使用計画を立てることになりました。ストーブの説明書には、次の情報が書かれています。

説明書の情報		強	弱
ストーブの設定			
1時間あたりの灯油使用量(L)		4.0	2.5

ストーブの使用時間と灯油の残量



(1) ストーブの使用時間と灯油の残量の「強」の場合と「弱」の場合のグラフは、どちらも点Pで y 軸と交わっています。点Pの y 座標の値は、何を表していますか。下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア ストーブを使用し始めるときの灯油の残量
- イ ストーブを使用し始めるときの時間
- ウ 「強」の場合のストーブの1時間あたりの灯油使用量
- エ 「弱」の場合のストーブの1時間あたりの灯油使用量

【成果】

グラフにおける y 軸との交点について、事象に即して解釈することができている。

【関数】大問8（2）第2学年 県 16.3% 全国 17.1%

【設問】ストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。

- ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$
- イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

方法・手順の説明

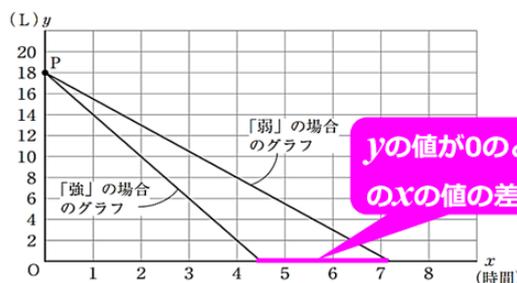
ア 式を用いる場合 (7.8%)

「強」の場合の式 $y = -4x + 18$
 「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$

【正答例】

「強」の場合の式と「弱」の場合の式について、それぞれの式に $y=0$ を代入し、 x の値の差を求める。

イ グラフを用いる場合 (8.5%)



【正答例】「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、 y の値が0のときの x の値の差を求める。

解答分析（式を用いる場合）

【正答例】「強」の場合の式と「弱」の場合の式について、それぞれの式に $y=0$ を代入し、 x の値の差を求める。

【誤答例】

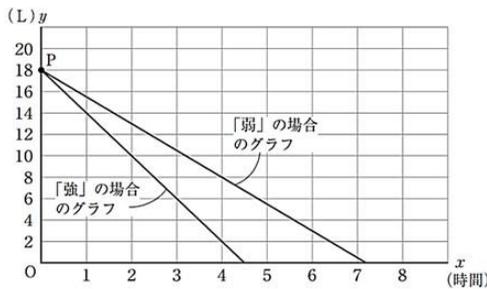
- ・ y に0を代入する。
- ・ 2つの式を使って考える など



思考の過程を的確に表現したり、考えたことを数学的な表現を用いて説明したりすることに課題があると考えられる。

ストーブの使用時間と灯油の残量

「強」の場合の式 $y = -4x + 18$
 「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$



授業改善のポイント

解決の方法として表現が不十分な説明を取り上げて、問題解決の見通しを共有した場面などを振り返りながら、十分な説明ができるようにすることが大切である。

問題解決の方法を議論する場面の設定



〈事実・事柄の説明〉

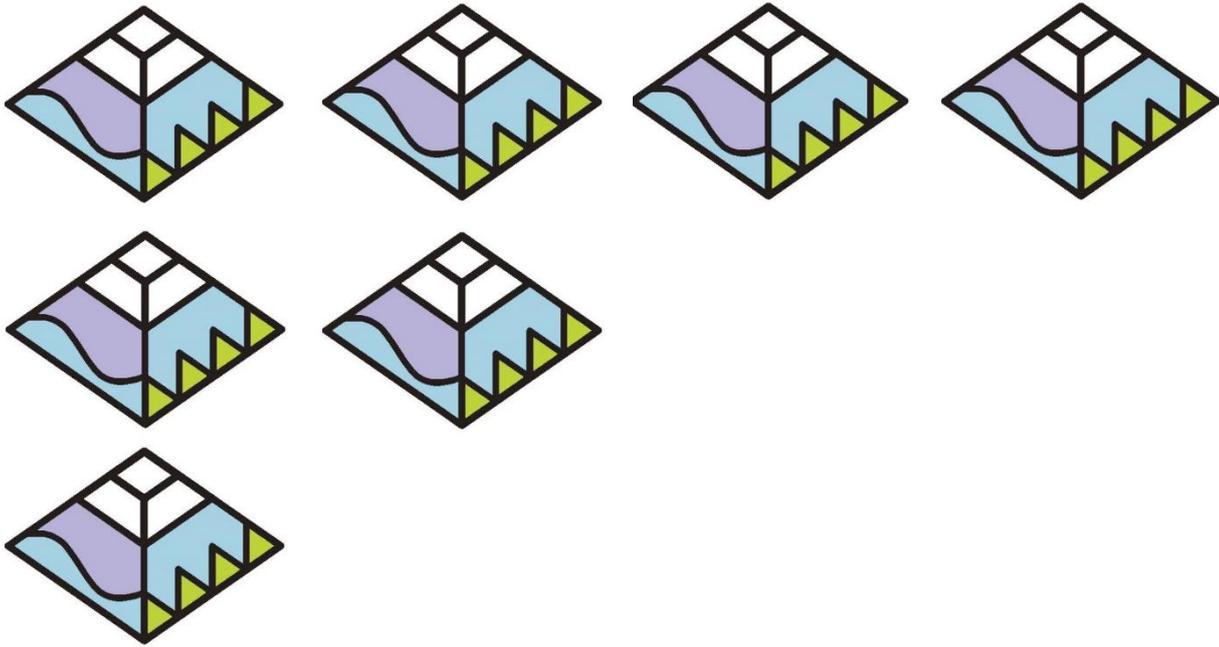
※見いだした事柄や事実を説明する問題
 『(前提) ○○は、(結論) △△になる』
 のような形

〈方法・手順の説明〉

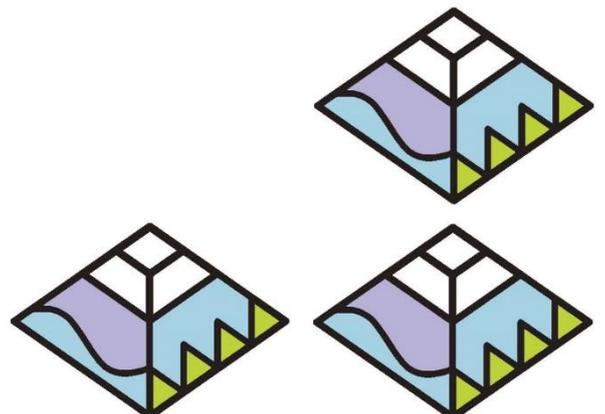
※事柄を調べる方法や手順を説明する問題
 ※「用いるもの」とその「使い方」を記述

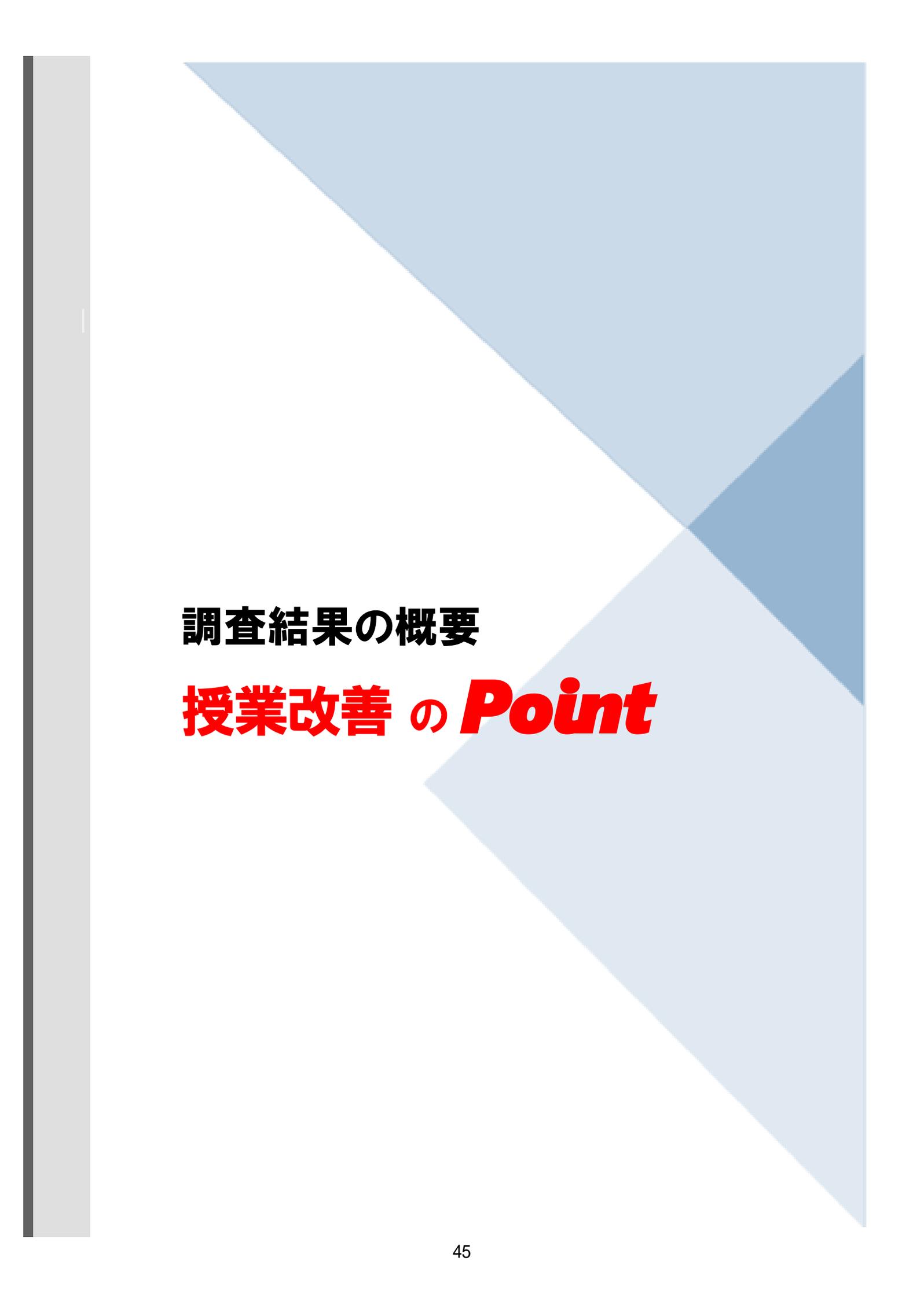
〈理由の説明〉

※事柄が成り立つ理由を説明する問題
 ※『(根拠) ○○であるから、
 (成り立つ事柄) △△である』
 のような形



山梨県学力把握調査





調査結果の概要

授業改善の *Point*

山梨県学力把握調査 中学校 第2学年 国語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
5538	24	58.5	54.8	3.7

※推定全国値とは、事前の調査による様々な指標値の結果を基に推定した正答率を示しています。

		県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	51.6	47.5	4.1
	情報の扱い方に関する事項	49.0	44.2	4.8
	我が国の言語文化に関する事項	70.1	62.9	7.2
	話すこと・聞くこと	69.9	68.0	1.9
	書くこと	61.2	58.4	2.8
	読むこと	53.8	49.4	4.4
観点	知識・技能	54.3	49.5	4.8
	思考・判断・表現	59.9	56.5	3.4
解答形式	選択式	60.2	56.7	3.5
	短答式	61.3	55.1	6.2
	記述式	49.7	46.2	3.5

設問別正答率														
通し 番号	解答 形式	観点		領域						問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	推定 全国値 (%)	全国との差 (ポイント)
		知	思	言葉	情報	言語	話聞	書	読					
1	選択		○								目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しているかどうかをみる。	93.7	92.8	0.9
2	選択		○								必要に応じて質問しながら話の内容を捉えているかどうかをみる。	82.9	79.5	3.4
3	記述		○								話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかをみる。	37.1	36.1	1.0
4	選択		○								自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えているかどうかをみる。	57.4	52.8	4.6
5	選択		○								相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫しているかどうかをみる。	78.3	78.6	-0.3

6	選択	○								地域の図書館についてのレポートを書く	目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝えたいことを明確にしているかどうかをみる。	68.0	65.5	2.5
7	選択	○		○						文法・語句に関する事項	情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。	49.0	44.2	4.8
8	選択	○								地域の図書館についてのレポートを書く	読み手の立場に立って、文章を整えているかどうかをみる。	58.3	54.4	3.9
9	記述	○									根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫しているかどうかをみる。	55.8	54.5	1.3
10	選択	○									読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしているかどうかをみる。	62.9	59.3	3.6
11	選択	○		○						文法・語句に関する事項	小学校で学習した漢字を正しく使っているかどうかをみる。	54.2	51.3	2.9
12	記述	○								言葉の使い方に関する文章を読む	目的に応じて必要な情報に着目して要約しているかどうかをみる。	28.7	25.6	3.1
13	選択	○									事実と意見の関係について叙述を基に捉えているかどうかをみる。	49.5	44.3	5.2
14	選択	○									文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えているかどうかをみる。	64.0	60.7	3.3
15	選択	○										43.6	40.1	3.5
16	選択	○									文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっているかどうかをみる。	78.1	72.4	5.7
17	記述	○									77.2	68.5	8.7	
18	短答	○		○						文法・語句に関する事項	単語について理解しているかどうかをみる。	52.5	47.3	5.2
19	選択	○		○							文節の関係について理解しているかどうかをみる。	35.2	33.5	1.7
20	選択	○								文学的な文書を読む	登場人物の心情について、描写を基に捉えているかどうかをみる。	60.3	57.5	2.8
21	選択	○									表現の効果について、根拠を明確にして考えているかどうかをみる。	38.0	33.3	4.7
22	選択	○									場面と場面を結び付けて、内容を解釈しているかどうかをみる。	45.1	41.9	3.2
23	短答	○				○				文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解しているかどうかをみる。	70.1	62.9	7.2
24	選択	○		○							漢字の部首について理解しているかどうかをみる。	64.7	57.9	6.8

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現

【領域について】(言葉)言葉の特徴や使い方に関する事項 (情報)情報の扱い方に関する事項
(言語)我が国の言語文化に関する事項 (話聞)話すこと・聞くこと (書)書くこと
(読)読むこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
23	文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解しているかどうかをみる。	知識・技能	短答
1	学級をよりよくするために話し合う	目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択
2		必要に応じて質問しながら話の内容を整えているかどうかをみる。		選択
5		相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫しているかどうかをみる。		選択
16	言葉の使い方に関する文章を読む	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっているかどうかをみる。		選択
17				記述

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号3」に関連した具体的な授業例の提示

通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
3	37.1	36.1	1.0	思考・判断・表現	記述
問題の内容	学級をよりよくするために話し合う				
出題のねらい	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	話題や展開を捉えながら話し合うために、何についてどのような目的で話し合っているかといった、話し合いの流れを生徒が常に意識できるような機会を設定することが考えられる。また、話し合いの展開に応じて、自分の発言と他者とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして、自分の考えや集団の考えをまとめられるように、学習活動の中で話し合いの内容を記録したり、考えを整理したりすることが大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
12	28.7	25.6	3.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容	言葉の使い方に関する文章を読む				
出題のねらい	目的に応じて必要な情報に着目して要約しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	目的に応じて必要な情報に着目して要約するために、生徒が要約を行う目的を確認できる場面を学習活動の中に設定することが大切である。また、要約したものが目的に沿っているかを考え、さらに必要な情報を取り出したり捉えたりしたりすることができるかを生徒が意識することが大切である。他者と協働的に学習に取り組む機会を設定することで、生徒が自分の要約した内容を俯瞰的な視点から振り返ることができると考えられる。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
19	35.2	33.5	1.7	知識・技能	選択
問題の内容	文法・語句に関する事項				
出題のねらい	文節の関係について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	文節の関係について理解を深めていくために、文節の関係について学習する機会を単発的に行うだけでなく、〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の学習過程における指導との関連を意識的に図ることが必要となる。「A話すこと・聞くこと」における「表現、共有(話すこと)」、「B書くこと」における「考えの形成、記述」「推敲」の指導事項と関わりをもたせながら、知識として定着できる学習過程を考えることが大切である。				

こんな姿を
目指したい！

話し合いの話題や展開を捉えながら、発言を結び付けて

自分の考えをまとめることができる生徒

課題がある設問（通し番号3）

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかを見る問題。

分析と課題

話し合いに参加していても、話題を意識しながら話し合うことに課題がある。また、他者の発言を結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。

1

学年の学習で…

日々の学習における改善・充実

- 言語活動例
「話し合いをするときに大切なこと」を考えよう。

言語活動
を通して

- 指導事項
〔第1学年〕思考力、判断力、表現力等
A才 **話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。**

資質・能力
を育成する

話し合いを踏まえ、話題についての自分の考えを振り返る機会を設定する

- 学習の流れ
- ① 学習の見通しをもつ。
- ② 資料や提供された情報から、話題を確認する。
→ 話題について話し合いをしている様子の導入部分のみをワークシートなどで例示する
- ③ 【話し合いの一部（導入部の例）】の続きを考え、話し合う。
→ ワークシート内の話し合いの続きをグループ等で話し合いながら考える
- ④ 話し合ったことを基に、**自分の考えをまとめる。**

本時は「〇〇」という話題についてグループで話し合いました。
グループで話した内容を踏まえて、話題についてあなたが考えたことをまとめましょう。



教師が振り返る観点を明らかにして、生徒が学習を振り返る機会を設定する

- 学習の流れ
- ⑤ 前時の学習を振り返る。
→ 前時④【話し合いを踏まえた自分の考え】を受け、「話し合いの中の誰の発言と結びつくか明確でないもの」「話題とのつながりが具体的でないもの」を取り上げワークシート等で例示
- ⑥ 「【話し合いを踏まえた自分の考え】の例」のまとめ方について分析する。
→ 例示を参考に、自分の考えのまとめ方を意識して話し合う
- ⑦ 前時の話し合いで分かったことを踏まえ、自分の生活で意識したいことについて話し合う。
- ⑧ 話し合ったことを基に、**自分の考えをまとめる。学習を振り返る。**

話し合ったことを踏まえて、これからの話し合いでどのように生かしていきたいか。**学習を通して気づいたこと**を振り返ってみましょう。



<日常的に実践できること…>

- ・ 話し合いの話題を可視化して提示する
- ・ 自分の考えの基になる発言や話し合いの内容をメモさせる
- ・ 話し合いの序盤や発言がある程度出た段階で話し合う目的を確認する
- ・ 振り返りの観点を明確にする

ここが
Point

自分の考えが話し合いの話題や内容とどのように結びついているか、そのつながりが分かるようにまとめられたかを振り返ろう！

山梨県学力把握調査 中学校 第2学年 数学

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
5533	35	58.3	58.8	-0.5

※推定全国値とは、事前の調査による様々な指標値の結果を基に推定した正答率を示しています。

		県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
領域	数と式	60.3	61.2	-0.9
	図形	61.0	64.2	-3.2
	関数	58.7	63.4	-4.7
	データの活用	50.8	44.0	6.8
観点	知識・技能	61.9	60.8	1.1
	思考・判断・表現	50.5	54.3	-3.8
解答形式	選択式	62.2	63.4	-1.2
	短答式	56.1	54.6	1.5
	記述式	27.6	30.5	-2.9

設問別正答率								問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点		領域								
		知	思	数式	図形	関数	データ活用					
1	選択	○	○					正の数・負の数	絶対値について理解しているかどうかをみる。	74.6	78.4	-3.8
2	選択	○	○						負の分数と負の整数の大小を比較することができるかどうかをみる。	38.6	42.9	-4.3
3	選択	○	○						素因数分解について理解しているかどうかをみる。	82.8	78.4	4.4
4	選択	○	○					文字式	1次式の減法の計算ができるかどうかをみる。	67.9	55.7	12.2
5	選択	○	○						分子が1次式である分数の乗法の計算ができるかどうかをみる。	80.3	79.4	0.9
6	短答	○	○					1次方程式	移項について理解し、簡単な1次方程式を解くことができるかどうかをみる。	65.7	67.4	-1.7
7	短答	○	○						かっこを含む1次方程式を解くことができるかどうかをみる。	55.2	50.3	4.9
8	短答	○	○						分数を含む1次方程式を解くことができるかどうかをみる。	37.6	40.9	-3.3
9	短答	○	○					正の数・負の数	かっこを含む正負の数の減法の計算ができるかどうかをみる。	80.3	79.4	0.9
10	短答	○	○						累乗を含む正負の数の計算ができるかどうかをみる。	81.8	76.5	5.3
11	短答	○	○						正負の数の四則混合の計算ができるかどうかをみる。	53.6	54.2	-0.6

12	選択	○	○			文字式	問題文の数量の関係を正しい不等式に表すことができるかどうかをみる。	50.5	58.5	-8.0
13	短答		○	○		1次方程式	タイルの縦の長さを、比例式を使って求めることができるかどうかをみる。	56.8	64.9	-8.1
14	短答		○	○			所持金についての方程式の x が何を表しているかを求めることができるかどうかをみる。	46.2	53.3	-7.1
15	短答		○	○			ケーキの個数についての方程式の x が何を表しているかを求めることができるかどうかをみる。	32.0	37.6	-5.6
16	選択	○			○		比例・反比例	x 、 y の比例関係を表す表から比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。	71.3	75.1
17	選択	○			○	x 、 y の値が与えられたとき、それを満たす反比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。		55.9	62.5	-6.6
18	選択	○			○	反比例のグラフから反比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。		45.8	53.9	-8.1
19	選択		○		○	グラフの傾き方から、問題文の条件にあうグラフを選ぶことができるかどうかをみる。		51.0	55.7	-4.7
20	選択		○		○	日常生活の場面で比例の考え方が利用できることを理解し、問題解決に必要な情報を選ぶことができるかどうかをみる。		69.5	70.0	-0.5
21	選択	○			○	平面図形	合同な2つの図形をみて、どのような移動をさせたのかを理解しているかどうかをみる。	78.7	76.6	2.1
22	選択	○			○		三角形の角の二等分線をかくために必要な作図を選ぶことができるかどうかをみる。	83.5	84.6	-1.1
23	記述		○	○		空間図形	面と辺の位置関係について正しく理解し、問題文のことがらがいつも正しいとはいえないことを説明することができるかどうかをみる。	23.6	30.1	-6.5
24	選択		○	○			ある図形の回転体の見取図を選ぶことができるかどうかをみる。	72.0	75.9	-3.9
25	選択		○	○			四角錐の投影図を選ぶことができるかどうかをみる。	70.3	74.0	-3.7
26	選択		○	○			円錐の展開図から、その表面積を求める式を選ぶことができるかどうかをみる。	68.7	71.2	-2.5
27	選択	○			○		底面積が等しく、高さも等しい円錐と円柱の体積について、正しく説明した文章を選ぶことができるかどうかをみる。	51.1	54.7	-3.6
28	選択	○			○		球の体積を求める式を選ぶことができるかどうかをみる。	39.9	46.8	-6.9
29	選択	○			○		データの散らばりと代表値	ヒストグラムの代表値の関係について、正しく理解している。	32.8	31.7
30	選択	○			○	度数分布表のある階級の度数を、ヒストグラムから読み取ることができるかどうかをみる。		89.8	83.2	6.6
31	選択	○			○	あるデータの中央値を求めることができるかどうかをみる。		58.8	51.5	7.3
32	短答	○			○	累積度数について理解しているかどうかをみる。		44.0	26.1	17.9
33	短答	○			○	問題文のヒストグラムの階級の幅を読み取ることができるかどうかをみる。		64.3	50.3	14.0
34	選択		○		○	問題文の表やヒストグラムを正しく読み取ることができるかどうかをみる。		34.2	34.2	0.0
35	記述		○		○	平均値についての説明の正誤を判断し、その判断の理由を正しく説明することができるかどうかをみる。		31.7	30.8	0.9

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現

【領域について】(数式)数と式 (図形)図形 (関数)関数 (デ活)データの活用

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	正の数・負の数	絶対値について理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
3		素因数分解について理解しているかどうかをみる。		選択
9		かっこを含む正負の数の減法の計算ができるかどうかをみる。		短答
10		累乗を含む正負の数の計算ができるかどうかをみる。		選択
5	文字式	分子が1次式である分数の乗法の計算ができるかどうかをみる。		短答
16	比例・反比例	x, y の比例関係を表す表から比例の式を選ぶことができるかどうかをみる。		選択
21	平面図形	合同な2つの図形をみて、どのような移動をさせたかを理解しているかどうかをみる。		選択
22		三角形の角の二等分線をかくために必要な作図を選ぶことができるかどうかをみる。		選択
30	データの散らばりと代表値	度数分布表のある階級の度数を、ヒストグラムから読み取ることができるかどうかをみる。		選択
24	空間図形	ある図形の回転体の見取図を選ぶことができるかどうかをみる。		思考・判断・表現
25		四角錐の投影図を選ぶことができるかどうかをみる。	選択	

【課題がある設問】

★次のページに「通し番号35」に関連した具体的な授業例の提示

通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
15	32.0	37.6	-5.5	思考・判断・表現	短答
問題の内容	1次方程式				
出題のねらい	ケーキの個数についての方程式の x が何を表しているかを求めることができるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	具体的な場面における問題を方程式を活用して解決する際、何を文字で表すかによって方程式が作りやすかったり、つくりにくかったりすることに気付けるように指導することが大切である。このことは、本設問を使って授業を行う場合、買うケーキの個数と持っていた金額をそれぞれ文字 x で表して方程式をつくり、比較することで確かめることができる。その際、つくった方程式から具体的な事象の数量やその関係を読み取る活動を取り入れることが考えられる。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
23	23.6	30.1	-6.5	思考・判断・表現	記述
問題の内容	空間図形				
出題のねらい	面と辺の位置関係について正しく理解し、問題文のことがらがいつも正しいとはいえないことを説明することができるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	観察や操作、実験などの活動を通して、直線や平面の位置関係の捉え方が生かされるような具体的な場面を取り入れることが大切である。直方体ABCD-EFGHの辺を直線、面を平面として、1つの平面に平行な2直線は平行であるかどうか、考察する場面を設定することが考えられる。このとき、直線AB、直線BC、直線CD、直線DAは、すべて面EFGH(平面)に平行である。直線ABと直線CD、直線BCと直線DAは平行であるが、それ以外は垂直であることを確かめることが考えられる。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
35	31.7	30.8	0.9	思考・判断・表現	記述
問題の内容	データの散らばりと代表値				
出題のねらい	平均値についての説明の正誤を判断し、その判断の理由を正しく説明することができるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	目的に応じてデータを収集し、コンピュータを用いるなどしてデータを表やグラフに整理し、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察できるように指導することが大切である。このとき、データの代表値の適切な使い方について検討し、判断できるようにする場面を設定することが考えられる。また、データの分布全体を確認した上で代表値を用いるようにすることが大切である。				

こんな姿を
目指したい！

データの分布の傾向を読み取り、判断の理由を 数学的な表現を用いて説明することができる生徒

課題がある設問（通し番号 35）

平均値についての説明の正誤を判断し、その判断の理由を正しく説明する問題

分析と課題

データの分布全体を確認した上で、代表値（平均値）を用いていないことに課題がある。

「データの活用」領域の学習 日々の学習における改善・充実

図書委員会では、読書週間に読書を呼びかける企画をしていて、その際に1日あたりの読書時間の目標を設定して読書習慣をつけてもらいたいと考えている。そこで、普段、生徒がどれくらいの時間を読書に当てているのか調べたいと考え、学年全体にアンケートを実施した。

〔前時〕
図書委員会が実施した読書時間のアンケートを集計し、それを表とヒストグラムに整理した。

作成した表とヒストグラムから、生徒の読書時間の傾向について調べてみましょう。

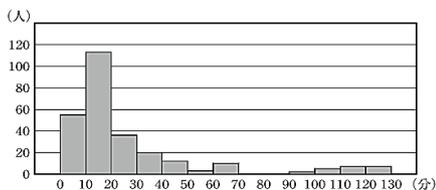
航平さんが作った表

	平均値	中央値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26	15	120	0

航平さん

平均値が26分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ。

桃子さんが作ったヒストグラム



桃子さん

ヒストグラムから、読書時間が20分未満の人が多いといえそうだ。

航平さんと桃子さんの意見を取り上げ、議論する場面を設定

平均値が26分だから、26分ぐらい読書をしている人が多いといえるのかな。

いえないと思う。ヒストグラムを見ると、26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。

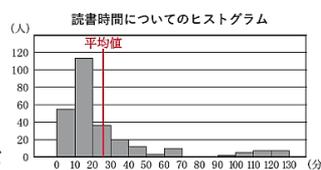
「1日に26分ぐらい読書をしている人が多いといえそうだ」という考えが適切でない理由をヒストグラムの特徴を基に説明してみましょう。



1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えは適切ではありません。



度数が最大となる階級は10分以上20分未満の階級なので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えは適切ではありません。



平均値は、かけ離れた値に影響を受けやすいんだね。100分～120分も読書をしている人がいるので、この値に影響を受けているということだね。



この場合は、平均値より中央値の方が代表値として適当なのではないかな。



中央値が15分ということは、学年のおよそ半数の人が、1日の読書時間が15分未満だということがわかるね。



読書週間中の読書時間の目標を何分に設定したらよいのかな。

図書委員

読書週間中は、読書する時間を増やしてほしいから、目標の読書時間を中央値より5分増やした20分に設定してみたらどうかな。



1日あたりの読書時間について、さらに調べてみたいことはありませんか。



データを平日と休日に分けて調べてみたら、何か違いはあるのかな。



データを学年ごとに分けて調べてみるのもいいね。

批判的に考察し判断する機会を設け、

多面的に吟味し合う場面を設定しよう！

ここが
Point

山梨県学力把握調査 中学校 第2学年 英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
5533	32	55.6	56.3	-0.7

※推定全国値とは、事前の調査による様々な指標値の結果を基に推定した正答率を示しています。

		県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
領域	聞くこと	67.8	65.8	2.0
	読むこと	51.1	53.0	-1.9
	書くこと	50.2	51.7	-1.5
観点	知識・技能	64.7	65.6	-0.9
	思考・判断・表現	42.2	42.7	-0.5
解答形式	選択式	57.2	61.4	-4.2
	短答式	67.4	67.7	-0.3
	記述式	34.5	34.9	-0.4

設問別正答率						問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点		領域						
		知	思	聞	読	書				
1	選択	○		○			リスニング(内容理解)	85.6	82.2	3.4
2	選択	○		○				82.9	80.3	2.6
3	選択	○		○				66.5	68.4	-1.9
4	選択	○		○			リスニング(対話文の応答)	63.3	64.3	-1.0
5	選択		○	○				55.7	57.2	-1.5
6	選択		○	○				52.7	51.6	1.1
7	短答		○	○			リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	95.2	93.7	1.5
8	選択		○	○				53.8	50.0	3.8
9	記述		○	○			リスニング(対話文の応答)	54.7	44.9	9.8

10	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(命令文の動詞の形)	54.7	52.6	2.1	
11	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(現在進行形)	61.2	62.2	-1.0	
12	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(一般動詞過去の疑問文)	34.6	39.6	-5.0	
13	選択	○						対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(所有代名詞の形)	77.6	85.0	-7.4	
14	選択	○					語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。	77.1	76.0	1.1	
15	選択	○							79.3	80.3	-1.0	
16	選択	○					さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと資料から、問われている内容を理解しているかどうかをみる。	51.7	54.8	-3.1	
17	選択	○							49.0	50.0	-1.0	
18	選択	○							英文の内容を理解し、適切な絵を選んでいるかどうかをみる。	48.1	48.3	-0.2
19	選択	○							英文から必要な情報を読み取っているかどうかをみる。	23.5	28.3	-4.8
20	選択	○						英文を読み、その概要を捉えて適切な順番で絵を選んでいくかどうかをみる。	24.4	23.9	0.5	
21	選択	○					長文の読み取り	生徒が校内に配信した話の内容を読み、指示語itが指す内容を理解しているかどうかをみる。	65.0	68.6	-3.6	
22	選択	○							生徒が校内に配信した話の内容を読み、適切な絵を選んでいくかどうかをみる。	48.3	49.6	-1.3
23	選択	○							生徒が校内に配信した話の内容を読み、その要点を捉えているかどうかをみる。	46.3	46.2	0.1
24	短答	○							生徒が校内に配信した話の内容を読み、その要点を捉えてメールを書いているかどうかをみる。	24.9	29.0	-4.1
25	短答	○					単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whoを含むbe動詞の疑問文)	73.8	76.9	-3.1	
26	短答	○							文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(助動詞canの疑問文)	53.4	57.2	-3.8
27	短答	○							文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(一般動詞過去の否定文)	77.3	73.8	3.5
28	短答	○							文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whatを含む現在進行形の疑問文)	79.5	75.8	3.7
29	記述	○					場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(How manyを使って数をたずねる)	21.8	35.8	-14.0	
30	記述	○							対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(Whereを使って場所をたずねる)	16.0	28.3	-12.3
31	記述	○					3文以上の英作文	自分の得意なことについて、まとめた内容で説明する文を書いているかどうかをみる。	31.5	31.6	-0.1	
32	記述	○							友達の動画に合わせた紹介文を、英語で相手に伝わるように書いているかどうかをみる。	48.3	34.1	14.2

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現

【領域について】(聞)聞くこと (読)読むこと (書)書くこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(禁止)	知識・技能	選択
2		絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(曜日)		選択
13	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(所有代名詞の形)		選択
14	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。		選択
15				選択
25	単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whoを含むbe動詞の疑問文)		短答
27		文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(一般動詞過去の否定文)		短答
28		文の語順を理解し、正確に書いているかどうかをみる。(whatを含む現在進行形の疑問文)	短答	
7	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、概要を捉えているかどうかをみる。	思考・判断・表現	短答

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号19」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
12	34.6	39.6	-5.0	知識・技能	選択
問題の内容	語形・語法の知識・理解				
出題のねらい	対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(一般動詞過去の疑問文)				
学習の指導に当たって	既習事項について繰り返し触れさせるために、帯活動やSmall Talkを活用することが大切である。その際、生徒のやり取りを指導者がモニタリングし、内容面だけでなく言語面の正確性に関して生徒に共通してみられる課題を取り上げ、中間指導を適切に行うことが大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
19	23.5	28.3	-4.8	思考・判断・表現	選択
問題の内容	さまざまな英文の読み取り				
出題のねらい	英文から必要な情報を読み取っているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	必要な情報を英文中から読み取り、得た情報を整理して答える力が求められる。メール、広告、予定表などから、読み手の目的に応じて必要な情報を読み取る言語活動などが考えられる。その際、日常的な話題を取り上げるなど、できるだけ現実に近い場面や生徒との関連性の高い状況を設定することが大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
30	16.0	28.3	-12.3	思考・判断・表現	記述
問題の内容	場面に応じて書く英作文				
出題のねらい	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(Whereを使って場所をたずねる)				
学習の指導に当たって	必要な英単語を理解していても、その単語を用いて正しく英文を書くことができていないことが考えられる。話すことの言語活動において、相手の発話に応じ関連した質問や意見を述べるなど対話を継続・発展させる指導を繰り返し行い、単語や文法事項の使い方の理解を深めることが大切である。書くことの言語活動としては、自分が質問したり答えたりしたことを書き出して、文脈や状況に応じて正しく書くことができているかを確認したり、それらをペアでチェックしたりする活動などが考えられる。				

こんな姿を
目指したい!

置かれた状況を把握し、文章から必要な情報が何かを判断し、読み取ることができる生徒

課題がある設問 (通し番号 19)

置かれた状況などから判断し、必要な情報を読み取っているかどうかをみる問題。

分析と課題

- ・目的・場面・状況を把握することに課題がある。
- ・複数の情報が含まれる文章から、必要な情報が何かを判断し、読み取ること課題がある。



言語活動を通して

日々の学習における改善・充実

文章を読む目的を把握する

What do you want to do for David?
Let's choose the best event to go to with him!

自分の置かれた状況を理解する

What is he going to do this weekend?
He is going to stay at my house.



やり取り

What does he want to do?

He wants some advice!
He wants to join some events in my town.

読み取る視点
を持たせる

What do you and David like?

We love sports, music and cooking.

When will David arrive/leave?

He will arrive on Saturday afternoon.
He will leave before 4 p.m. on Sunday.



こういった情報を読み取らなくてはならないかを把握する

What is the hint?
What are the keywords?

やり取り

We love... Sports
Music Cooking

Day / Time
Saturday afternoon

Sunday
before 4 p.m.

文章を読み、必要な情報を判断する

<p>1. Rugby Gam</p> <p>Let's watch together!</p> <p>Date & Time Saturday, April 15 9:30 a.m. - 11:30 a.m.</p> <p>Place Midori Park</p>	<p>2. Flower Market</p> <p>You can buy beautiful flowers!</p> <p>Date & Time Saturday, April 15 9:00 a.m. - 4:00 p.m.</p> <p>Place Hikari Garden</p>	<p>3. City Orchestra</p> <p>You can enjoy a wonderful performance!</p> <p>Date & Time Sunday, April 16 1:00 p.m. - 3:00 p.m.</p> <p>Place Tsubomi Hall</p>	<p>4. "Cook & Eat"</p> <p>Let's enjoy cooking and eating!</p> <p>Date & Time Sunday, April 16 4:00 p.m.</p> <p>Place Cooking Room "Wakaba"</p>
---	---	---	---

3が最も適切なイベントだな...

学んだことを他の状況でも活用する

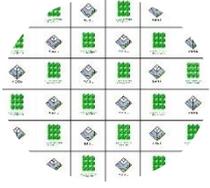
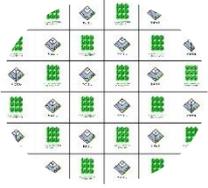
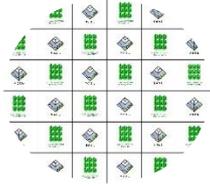
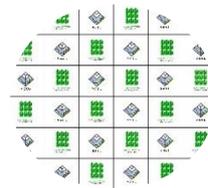
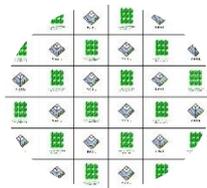
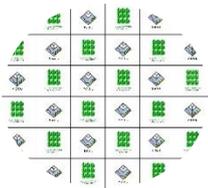
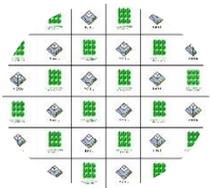
自分の状況を確認しよう...!

着目すべきポイントは...?

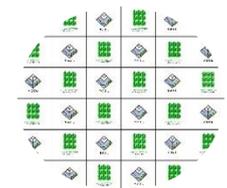
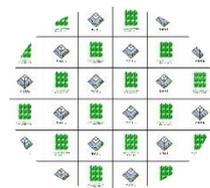
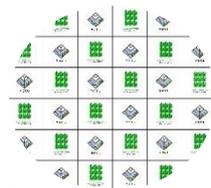
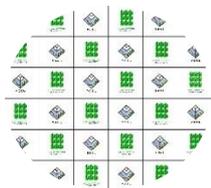
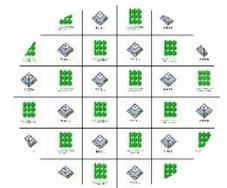
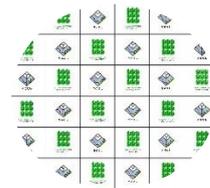
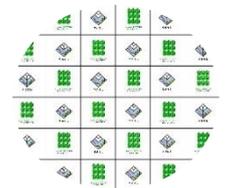


ここが
Point

意味のある文脈、言語の働きを意識した使用場面を設定しよう!
既習事項を整理し、他の状況でも活用できる場面を仕組もう!



山梨県公立小中学校 教育課程実施状況調査



調査結果の概要

授業改善の *Point*

教育課程実施状況調査 小学校 第6学年 社会

実施児童数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
553	28	61.8	62.8	-1.0

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土の自然などの様子	59.6	62.6	-3.0
	農業や水産業	54.6	55.5	-0.9
	工業生産	69.3	69.9	-0.6
	産業と情報の関わり	64.2	65.9	-1.7
	国土の自然環境と国民生活	64.3	62.3	2.0
観点	知識・技能	65.6	65.7	-0.1
	思考・判断・表現	55.8	58.4	-2.6
	主体的に学習に取り組む態度	56.8	59.6	-2.8
解答形式	選択式	65.2	66.4	-1.2
	短答式	53.1	54.7	-1.6
	記述式	46.9	45.3	1.6

設問別正答率														
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	全国との差 (ポイント)	
		知	思	態	国土	農水	工業	情報						環境
1	選択	○			○					世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解している。	80.5	79.1	1.4
2	選択	○			○						韓国の位置について理解している。	88.4	85.0	3.4
3	短答	○			○						日本の領土の範囲について理解している。	55.9	58.7	-2.8
4	選択	○			○				日本の国土と人々の暮らし	日本の主な地形の名称と位置について理解している。	30.6	35.2	-4.6	
5	短答	○			○					日本の主な地形(湖)の名称を理解している。	57.5	67.9	-10.4	
6	選択		○	○	○					日本の気候の特徴について、雨温図をもとに判断している。	44.8	49.7	-4.9	

7	選択	○						日本の農業	資料をもとに、米づくりに適した気候について考えている。	48.1	43.9	4.2
8	選択	○						日本の農業	耕地整理(圃場整理)について理解している。	81.2	83.8	-2.6
9	選択	○						日本の水産業	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。	54.1	49.5	4.6
10	選択	○	○					日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断している。	91.1	90.3	0.8
11	選択	○		○				日本の食料生産	日本の食料生産の理解をもとに、資料を読み取っている。	37.4	34.5	2.9
12	選択	○	○						食品を購入するときの基準について、場面に即して判断している。	68.0	70.9	-2.9
13	短答	○							食料自給率について理解している。	28.4	33.7	-5.3
14	選択	○	○						日本の食料生産について、適切な資料を判断している。	28.2	37.5	-9.3
15	選択	○						自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解している。	86.8	89.3	-2.5
16	選択	○							自動車工場を支える関連工場について理解している。	64.9	65.5	-0.6
17	記述	○	○						自動車の海外生産について、資料をもとに表現している。	27.8	26.3	1.5
18	選択	○						日本の工業生産	工業製品の分類を理解している。	88.2	92.4	-4.2
19	短答	○		○					日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめている。	82.5	85.0	-2.5
20	記述	○	○						日本の工業の特色について、資料をもとに表現している。	66.0	64.2	1.8
21	選択	○							日本の貿易について資料を読み取っている。	69.1	66.5	2.6
22	選択	○						情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解している。	89.2	89.6	-0.4
23	短答	○							マスメディアについて理解している。	41.0	28.4	12.6
24	選択	○							情報の発信と受信の注意点について考えている。	61.3	67.7	-6.4
25	選択	○	○						販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断している。	65.3	78.0	-12.7
26	選択	○						自然環境と国民生活	間伐について理解している。	79.4	73.3	6.1
27	選択	○							国内の林業が抱える課題について考えている。	45.4	42.2	3.2
28	選択	○							沖縄県での自然環境を守る取り組みについて考えている。	68.0	71.4	-3.4

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(国土)国土の自然などの様子 (農水)農業や水産業(工業)工業生産

(情報)産業と情報との関わり (環境)国土の自然環境と国民生活

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
2		韓国の位置について理解しているかどうかをみる。		選択
8	日本の農業	耕地整理(圃場整理)について理解しているかどうかをみる。		選択
15	自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解しているかどうかをみる。		選択
18	日本の工業生産	工業製品の分類を理解しているかどうかをみる。		選択
19		日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめているかどうかをみる。		短答
22	情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解しているかどうかをみる。		選択
10	日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号14、25」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
4	30.6	35.2	-4.6	知識・技能	選択
問題の内容	日本の国土と人々の暮らし				
出題のねらい	日本の主な地形の名称と位置について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	日本の国土の様子と国民生活について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」、「人々は地形条件や気候条件をどのようにいかしているか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。また、教科用図書「地図帳」の使い方を適切に指導し、児童が個々の調べ学習において必要に応じて主体的に地図帳を活用できる等、各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能の獲得を目指すような指導が大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
14	28.2	37.5	-9.3	思考・判断・表現	選択
問題の内容	日本の食料生産				
出題のねらい	日本の食料生産について、適切な資料を判断しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	日本の食料生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」等の問いを設けて調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、我が国の食料生産が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、資料をもとに根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しによる指導が大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
25	65.3	78.0	-12.7	思考・判断・表現	選択
問題の内容	情報を生かした産業				
出題のねらい	販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	産業における情報活用の現状について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「その産業ではどのような情報を集めているか」、「情報をどのように活用しているか」等の問いを設けて調べ、情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しによる指導が大切である。				

教科の見方・考え方を働かせ、 資料の読み取りの技能等を身に付け、自ら学ぶ児童

こんな姿を
目指したい！

課題がある設問（通し番号 14、25）

- 日本の食料生産について、適切な資料を判断しているかをみる問題。
- 販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断できるかをみる問題。

分析と課題

- 資料（地図やグラフ）の読み取り等の技能の定着に課題がある。
- 多角的な考察に課題がある。

課題改善のために…

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的事象の見方・考え方を働かせた問題解決的学習の実施
 - ・複数の資料の関連付け・多様な意見に触れる機会・学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



日々の学習における改善・充実

全学年(3~6年)の学習で…

社会科において、児童が課題を追及したり解決したりする活動、(中略)

調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程

⇒問題解決的な学習過程を充実させることが重要である

児童が調べ学習をする際に…



このグラフは何を表したグラフですか？
縦軸は？ 横軸は？
1メモリは？ ここの値は？…

まずは読み取り方を指導する

その際…

◎複数の資料を関連付けることも意識する



これら二つのグラフを比べてみると
・結び付けてみると・まとめてみると
どのようなことがわかりますか？

◎児童が自分の力で資料を読み取る



収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取ることができるか？



- ・出来事やその時期、その推移などの前後関係を読み取る
- ・位置関係や形状、分布などを読み取る 等

※小学校学習指導要領解説社会編 P152を参照するとよい

課題解決のための資料の読み取りであることを意識

児童が思考したり判断したりする際に…

◎多角的な考察が重要となる

そのために…

◎教師の意図的な発問・言葉かけ



みなさんお買い物はしたことがありますか？
お店に関わる人ってどんな人がいるでしょうか。
『〇〇にとって「いいお店」とは？』〇〇には何が入りますか？

それぞれについて調べてみましょう

お客さん



商品を運ぶ人

働く人



地球環境

◎対話をして多様な意見に触れること

お客さん側からの意見→

お店側からの意見

A とにかく安い
お店がいいよ

B ほしいものがある
あるお店かな

C たくさんお客さんが
来てくれるお店かな

Cの児童の意見を取り上げる等して多角的な考察へつなげ…

お客さんの願いがお店の工夫や努力とつながっているんだ！

いつでも多角的に考える意識

教科の見方・考え方を働かせよう！

資料の読み取りの技能等を身に付けよう！

ここが
Point

教育課程実施状況調査 小学校 第6学年 理科

実施児童数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
552	30	56.5	60.3	-3.8

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	物質・エネルギー	50.3	56.2	-5.9
	生命・地球	59.2	62.0	-2.8
観点	知識・技能	63.9	68.3	-4.4
	思考・判断・表現	50.8	54.1	-3.3
	主体的に学習に取り組む態度	59.8	62.0	-2.2
解答形式	選択式	58.3	61.4	-3.1
	短答式	56.1	63.0	-6.9
	記述式	45.1	46.9	-1.8

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	物工	生地					
1	選択	○				○	天気の変化	雲画像や雲のようすから住んでいる地域を推測できる。	35.1	33.5	1.6
2	短答	○				○		この時期の雲が西から東のほうへ動くことを理解している。	53.6	67.8	-14.2
3	選択	○				○		資料をもとに、台風の風の強さが特に強い場所を推測できる。	31.2	34.5	-3.3
4	選択	○		○		○		台風に備えて、身の安全のために適切な行動を理解している。	90.2	90.5	-0.3
5	短答	○				○	人のたんじょう	胎児は、子宮で育つことを理解している。	74.5	77.8	-3.3
6	選択	○				○		胎児と母親の間での物質のやりとりのしくみを理解している。	74.5	86.5	-12.0
7	選択	○		○		○	魚のたんじょう	メダカのめすとおすの見分け方を理解している。	73.9	66.3	7.6
8	選択	○				○		メダカの受精直後のたまごのようすを理解している。	52.5	53.9	-1.4
9	選択	○				○		メダカのたまごの孵化に関するグラフを読み取り、分析できる。	45.8	43.7	2.1

10	記述		○	○					受粉が必要かどうかを確かめる実験について、改善の方法を説明できる。	57.2	56.0	1.2
11	短答	○						○	植物の花のつくりと実 実はめしべの一部が変化したものであることを理解している。	36.1	40.9	-4.8
12	短答		○					○	グラフから、実が育つ割合と虫が花に来た回数 の関係を分析できる。	55.8	55.6	0.2
13	短答	○						○	侵食について理解している。	49.6	57.0	-7.4
14	選択		○					○	流れる水のはたらき 流れる水のはたらきについて、予想が正しかった 場合に得られる実験の結果を推測できる。	58.2	62.7	-4.5
15	記述		○	○				○	流れる水のはたらきについて、目的の結果を得 るための実験の方法を構想し、説明できる。	58.9	60.7	-1.8
16	選択		○					○	植物の発芽と成 長 種子の発芽に空気が必要かどうかを確かめる ための適切な対照実験を指摘できる。	62.7	67.5	-4.8
17	短答		○					○	実験の結果から、種子の発芽に必要な条件を 推測できる。	67.0	75.6	-8.6
18	選択		○					○	袋に入って販売されている種子が発芽しない理 由を指摘できる。	60.7	63.4	-2.7
19	選択	○						○	成長したなえの子葉にでんぷんがふくまれない 理由を理解している。	81.3	86.5	-5.2
20	選択	○						○	けんび鏡の使い 方 観察に適した顕微鏡の種類を理解している。	65.2	62.2	3.0
21	選択	○		○				○	顕微鏡の使い方を身に付けている。	58.2	59.6	-1.4
22	選択		○		○				ごみ処理場での電磁石の利用方法から、電磁 石の性質を指摘できる。	69.4	71.4	-2.0
23	選択		○		○				引きつけたゼムクリップの数から、コイルの巻き 数と乾電池のつなぎ方を推測できる。	43.7	48.4	-4.7
24	選択		○		○				2つの実験の結果のちがいがいから、電磁石の力 の強さを変える要因を指摘できる。	46.4	52.8	-6.4
25	選択	○		○	○				ふりこの周期の測定方法を理解している。	59.2	63.6	-4.4
26	選択		○		○				ふりこのきまり 実験の方法と結果から、ふりこの条件を推測で きる。	46.0	53.5	-7.5
27	選択		○		○				ふりこの周期を理解し、実験の結果を推測でき る。	51.1	51.3	-0.2
28	短答		○		○				塩水を熱する作業によって塩をとり出している ことを指摘できる。	55.8	66.0	-10.2
29	選択	○		○	○				物のとけ方 ろ過のしかたを身に付けている。	61.6	75.2	-13.6
30	記述		○	○	○				グラフをもとに、食塩水を冷やした際の実験の 結果を推測し、その理由を説明できる。	19.2	23.9	-4.7

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現

（態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（物工）物質・エネルギー （生地）生命・地球

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
4	天気の変化	台風に備えて、身の安全のために適切な行動を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
5	人のたんじょう	胎児は、子宮で育つことを理解しているかどうかをみる。		短答
6		胎児と母親の間での物質のやりとりのしくみを理解しているかどうかをみる。		選択
7	魚のたんじょう	メダカのめすとおすの見分け方を理解しているかどうかをみる。		選択
19	植物の発芽と成長	成長したなえの子葉にでんぷんがふくまれない理由を理解しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号24」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
2	53.6	67.8	-14.2	知識・技能	短答
問題の内容	天気の変化				
出題のねらい	この時期の雲が西から東のほうへ動くことを理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	問題解決を通して習得した知識を活用して、学習の成果を日常生活との関わりの中で捉えなおす場面を設定する。ICT機器等を活用し気象衛星などから得た雲の動きの情報を、実際に地域の空で体験的に捉えなおすことで、学習内容をより深く理解させることが大切である。さらに地域に伝わる天気のことわざを調べ、天気と雲の様子の間関係を捉えさせるような学習活動も考えられる。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
24	46.4	52.8	-6.4	思考・判断・表現	選択
問題の内容	電流のはたらき				
出題のねらい	2つの実験の結果のちがいがから、電磁石の力の強さを変える要因を指摘できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	一人一人が問題に対して根拠のある予想や仮説をたて、問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想する場面を設定する。その際に、「条件を制御する」という理科の「考え方」を意識させる。変える条件と変えない条件を整理することで、予想や仮説を検証するために何に目を向けるのかを明確にしていくことが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
29	61.6	75.2	-13.6	知識・技能	選択
問題の内容	物のとけ方				
出題のねらい	ろ過のしかたを身に付けているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	一人一人が実験に関する基本的な技能を身に付けることができるようにする。器具の操作に関する手順の理解を図るとともに、間違えやすい事例を教師が演示し、器具を使用する目的や操作の意味を捉えることができる場面を設定する。また、実験を行う際には、ICT機器等を活用し、器具の使用方法に関する動画を提示したり児童が繰り返し視聴したりすることも考えられる。				

こんな姿を
目指したい！

解決の方法を発想し、 主体的に問題を解決しようとする児童

課題がある設問（通し番号 24）

- 2つの実験結果の違いから、電磁石の強さを変える要因を指摘する問題。

分析と課題

- 問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想することに課題が見られる。
- 「条件を制御する」という考え方の活用に課題がある。

課題改善のために…

- 一人一人が問題に対して根拠のある予想や仮説をもち、問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想する場面を設定する。
- 「条件を制御する」という理科の「考え方」を意識させ、変える条件と変えない条件を整理することで、予想や仮説を検証するために何に目を向けるのかを明確にする。

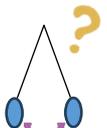
高学年の学習で

日々の学習における改善・充実

自然現象への気付き

問題

ふりこの1往復する時間は、何によって変わるのだろうか



問題の設定

どう思いますか。予想してみましょう。

予想や仮説の設定



家でふりこ時計をみたことがあるな。

ブランコの動きににているな。



子供固有の生活経験や素朴概念・既習内容からの予想や仮説

ヨーヨーで遊んだ時に、ひもが短い時の方が動きがはやかった気がするな。ふりこの長さが関係していると思う。

移動する距離が長い方が時間がかかると思う。だから、ふれはばだと予想したよ。

ブランコに子供が乗った時と大人が乗った時では大人の時の方がはやそう。だからおもりの重さが関係していると思う。

より妥当な予想や仮説に 高めていくために

自分と同じ予想の人、違う予想の人と○人ずつ交流してみましょう。

どのように予想したのか、配信したシートに入力しましょう。その際に、理由も入力してみましょう。



私はふりこの長さが関係していると予想したけど、そうではない友達もいるな。



共有 参照
ICTの活用

〇〇さんは、ふれはばだと予想しているな。理由をもう少し詳しく聞いてみたいな。

おもりの移動する距離が長くなるからふれはばだと思ったんだけど、ふりこの長さだと予想している◇◇さんに理由をきいてみよう。

違いを顕在化

私はふりこの長さが長いほど、ゆっくりになると思うな。

何を調べればよいか明確に

ふりこの長さをかえて実験してみると分かりそうだね。そうすると、おもりの重さやふれはばは変えてはだめだね。

検証計画の立案

観察、実験

結果の処理

考察

結果の導出



- 「共有」といった ICT の特性・強みをいかし共同編集することで、友達の予想を確認でき、考えをひろげ、より妥当なものに高めることができるようにする。
- 根拠のある予想や仮説を発想することで、何を調べればよいか明確にさせ、子供自ら解決の方法を発想することができるような場を設定する。

「予想や仮説」を発想させ、より妥当なものに高める場面を設定し、

何を調べればよいかを明確にさせよう！

ここが
Point

教育課程実施状況調査 中学校 第3学年 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
505	30	51.1	53.0	-1.9

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	52.3	55.4	-3.1
	歴史	49.8	50.5	-0.7
観点	知識・技能	53.3	53.8	-0.5
	思考・判断・表現	48.5	52.0	-3.5
	主体的に学習に取り組む態度	41.2	43.1	-1.9
解答形式	選択式	52.5	53.3	-0.8
	短答式	59.6	64.1	-4.5
	記述式	17.4	26.6	-9.2

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	(ポイント) 全国との差
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	地	歴					
1	選択	○			○		日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	39.0	49.2	-10.2
2	選択		○		○			日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断している。	88.9	91.1	-2.2
3	記述		○	○	○			日本の資源・エネルギーにかかわる課題について、資料をもとに考察し表現している。	25.3	37.6	-12.3
4	選択	○			○	○		日本の漁業や海洋の特色についての理解をもとに、複数の資料を関連付けて読み取っている。	45.7	49.1	-3.4
5	選択	○			○		日本の諸地域	日本の各地方の自然環境について理解している。	64.6	65.3	-0.7
6	短答	○			○			関東地方の自然環境について理解している。	72.7	79.3	-6.6
7	選択		○		○			九州地方の工業の特色について、資料をもとに判断している。	36.4	40.2	-3.8
8	選択	○			○			中部地方の農業の特色について理解している。	29.5	21.0	8.5
9	選択		○		○			北海道地方の酪農について考察している。	73.5	81.5	-8.0

10	選択		○	○	○	日本の諸地域	近畿地方や中部地方の工業の特色についての理解をもとに、地図に着目して判断している。	36.2	36.1	0.1
11	短答	○			○	地域調査の手法	扇状地について理解している。	51.7	55.8	-4.1
12	選択		○		○		地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察している。	76.2	81.6	-5.4
13	選択	○			○		地図記号の理解をもとに、地形図を読み取っている。	65.5	64.5	1.0
14	選択	○				ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ルネサンスや大航海時代について理解している。	38.4	32.0	6.4
15	選択	○					ヨーロッパとイスラム世界との交流について理解している。	59.0	52.3	6.7
16	選択	○					織田信長による統一事業について、資料を読み取っている。	61.4	66.1	-4.7
17	選択	○					織田信長による統一事業について理解している。	71.1	52.3	18.8
18	選択		○				豊臣秀吉による対外政策について、資料をもとに判断している。	60.2	62.7	-2.5
19	選択		○			江戸時代	徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断している。	54.9	62.7	-7.8
20	選択		○	○			江戸時代の大阪の蔵屋敷が集中していた地域について、資料をもとに判断している。	67.7	67.9	-0.2
21	短答	○					蘭学について理解している。	52.5	63.1	-10.6
22	選択		○				幕府の政治改革や欧米諸国の接近について、資料をもとに判断している。	33.5	34.3	-0.8
23	選択		○	○			開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断している。	41.6	38.2	3.4
24	選択	○				明治時代	地租改正について、資料を読み取っている。	43.7	49.9	-6.2
25	短答	○					殖産興業について理解している。	61.9	58.2	3.7
26	選択	○					板垣退助による政党結成について理解している。	47.8	53.1	-5.3
27	選択		○				大日本帝国憲法の制定について、資料をもとに考察している。	44.4	48.9	-4.5
28	選択		○	○		日本の地域的特色と地域区分	日本の工業の特色についての理解をもとに判断している。	30.7	30.0	0.7
29	選択	○			○		日本の農業の特色について、複数の資料を関連付けて読み取っている。	48.3	49.1	-0.8
30	記述		○	○		明治時代	幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現している。	9.5	15.6	-6.1

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現

（態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（地）地理 （歴）歴史

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
6	日本の諸地域	関東地方の自然環境について理解しているかどうかをみる。	知識・技能	短答
17	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長による統一事業について理解しているかどうかをみる。		選択
2	日本の地域的特色と地域区分	日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択
9	日本の諸地域	北海道地方の酪農について考察しているかどうかをみる。		選択
12	地域調査の手法	地形図から読み取れる地形と気候の特色について考察しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号19、30」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
1	39.0	49.2	-10.2	知識・技能	選択
問題の内容		日本の地域的特色と地域区分			
出題のねらい		日本の地形の特色について理解しているかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		地理的事象や関連する語句の伝達だけでなく、日本の地形の特色に関する課題などを設定し、フォッサ・マグナを境にして分けた地域区分を比較し、共通点や差異、分布の傾向性に着目して、多面的・多角的に考察し、国内を大きく区分して見ると、西南日本には東西の方向に、東北日本には南北の方向に背骨のように山脈が走ること等の知識を基に、その結果を表現できるよう展開が考えられる。また、地図帳を十分に活用しながら日本全体としての地域的特色を理解することが大切である。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
19	54.9	62.7	-7.8	思考・判断・表現	選択
問題の内容		江戸時代			
出題のねらい		徳川家光が改訂した武家諸法度の内容について判断できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題(問い)を設定し、個々の生徒が、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどを考察し、これらの考察の結果を表現する活動などを工夫して、幕府と藩による支配が確立したことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
30	9.5	15.6	-6.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容		明治時代			
出題のねらい		幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し、表現できるかどうかをみる。			
学習の指導に当たって		歴史的事象や関連する語句の伝達だけでなく、「社会の変化と幕府の政策の変化」などに着目して課題(問い)を設定し、近世社会の基礎が動揺していったことに気付くことができるようにするとともに、江戸時代後半の外国船の接近や、それに対応した幕府による北方の調査や打払令などを扱い、それらの背景について考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことの理解を目指すという展開が考えられる。			

こんな姿を
目指したい！

自ら課題を見出し、学習を調整しながら 追究する生徒

課題がある設問（通し番号 19、30）

- 徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断する問題。
- 幕府の対外政策に影響を与えた欧米諸国のアジア進出についての理解をもとに考察し表現する問題。

分析と課題

- 社会的事象の意味や背景の理解に課題がある。
- 複数の事象をもとに考察し、表現することに課題がある。

課題改善のために...

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的な見方・考え方を働かせた課題解決的な学習の実施
 - ・課題設定の工夫・学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



歴史的分野の学習で...

日々の学習における改善・充実

※本事例は、学習指導要領歴史的分野 B(3)ア(4)を基に単元を構成した際の、単元中の1時間を想定したものである。学習指導要領で示された理解項目の習得のためには単元全体をデザインする等、系統的な視点も重要である。(R4「授業改善のpoint」参照)

授業改善の POINT

それぞれの幕府の
実質的な支配期間
ですが...

えっ？江戸幕府だけがそんなに
長いんだ...

江戸幕府が見つけた秘訣はな
んのだろう。

生徒一人一人が別の課題
に取り組むような展開も考
えられる。(学力調査を踏ま
えた授業力アップ研修会)資
料参照)

生徒の疑問を引き
出す工夫をしていますか？

理解させたいこと
につながる単元の
学習問題や各時間
の学習課題を、生
徒とともに設定し
ていますか？

情報収集、読み取
り、まとめ等の
指導を積み重ねた
上で、学習活動を
生徒に委ねてみま
せんか？

「見方・考え方」
等の追究の視点や
方法についての指
導を積み重ねてい
ますか？

他の幕府と比べてみ
るとどうですか？

日本が鎖国をしている間他の国は
どのような動きをしていたの
だろう？

「歴史的分野 C(1)ア(ア)欧米における近代
社会の成立とアジア諸国の動き」の学習へ

なぜ、江戸幕府は長い間政治の権力をたもてたのだろうか？

教科書には、「武家諸法度」や「幕藩体制」ということが書いてあるよ。

大名の配置についての地図も載っているわ。

〇〇さんの意見を見てみると、こんな考え方もあるのか。

教科書と地図資料の関連も考えると、参勤交代や大名の配置、幕藩体制などの制度はそれぞれが個別ではなく...

1人1台端末とクラウド環境を活用し、他の生徒の意見を共有しておくことは、思考の広がりや意見の比較が有効である。

教科書で調べてみただけだと、幕府は対外政策にも力を入れていたみたいだよ。

幕府が長く続いたのは参勤交代だけが理由ではない？もっと様々な面から調べてみよう。

調べたことを友達に説明していたら、自分の理解が十分でないところが見えてきました。もう一度、まとめを見直してみよう。

幕府はどのような国づくりを目指していましたか？

なぜ、このような大名の配置にしたのでしょうか。

調べてみて、江戸幕府は、幕藩体制や武家諸法度によって定められた参勤交代などの、大名に対する統治の仕方や宗教規制や鎖国などの対外政策によって、幕府に反抗する勢力をつくらな支配体制をつくっていたことがわかりました。また、産業や流通の発達により、民衆の暮らしも平和で豊かになり、支配体制は一層盤石なものになっていったと考えられます。

それほど、盤石な支配体制の江戸幕府はなぜ終わりを迎えるの
だろう？

生徒は課題意識をもっていますか？

生徒が課題の解決を目指して資料を活用して追究していますか？

生徒が協力的な学びから自らの学びを振り返り、調整しようとしていますか？

生徒は課題追究を通して理解できていますか？また、新たな課題を見出していますか？

生徒が、社会的な見方・考え方を働かせて、
課題を追究したり解決したりする学習過程の工夫をしよう！

ここが
Point

教育課程実施状況調査 中学校 第3学年 理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
506	33	46.9	50.5	-3.6

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	エネルギー	45.6	47.9	-2.3
	粒子	48.1	51.2	-3.1
	生命	53.6	57.9	-4.3
	地球	38.4	43.0	-4.6
観点	知識・技能	51.0	54.8	-3.8
	思考・判断・表現	41.4	44.6	-3.2
	主体的に学習に取り組む態度	40.1	42.1	-2.0
解答形式	選択式	48.8	52.6	-3.8
	短答式	50.3	53.4	-3.1
	記述式	22.2	26.1	-3.9

設問別正答率													
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	(ポ イン ト) の差
		知	思	態	エ ネ	粒 子	生 命	地 球					
1	選択	○				○			物質の成り立ち	原子の性質について理解している。	61.5	68.4	-6.9
2	短答	○				○				化合物について理解している。	35.6	42.9	-7.3
3	選択		○			○			化学変化	エタノールの燃焼のモデルの誤りを見直し、改善できる。	40.3	45.0	-4.7
4	選択	○		○		○			化学変化	ガスバーナーの使い方を身に付けている。	55.1	51.0	4.1
5	短答	○				○				発熱反応について理解している。	63.4	61.2	2.2
6	選択		○			○				実験の結果について、正しくない発言をしている人を指摘できる。	50.6	53.9	-3.3
7	短答	○				○			物質の成り立ち	炭酸水素ナトリウムの化学式を理解している。	20.4	25.8	-5.4
8	短答	○				○			化学変化と物質の質量	炭酸水素ナトリウムと塩酸を反応させると、二酸化炭素が発生することを理解している。	58.5	59.5	-1.0

9	短答	○					化学変化と物質の質量	質量保存の法則を確かめるために、実験の方法を改善できる。	47.2	53.0	-5.8
10	選択	○					生物と細胞	動物の細胞について理解している。	51.8	54.1	-2.3
11	選択	○						植物の器官について理解している。	54.3	52.7	1.6
12	選択	○	○				植物のからだの つくりとはたらき	葉にワセリンをぬる理由を理解している。	78.7	81.1	-2.4
13	選択	○						葉の裏から出ていった水の量の求め方を指摘できる。	17.6	20.2	-2.6
14	短答	○						蒸散について理解している。	63.6	68.5	-4.9
15	選択	○					動物のからだの つくりとはたらき	貧血の原因が赤血球やヘモグロビンと関係していることを推測できる。	65.8	72.9	-7.1
16	選択	○						アンモニアの排出について理解している。	26.7	39.7	-13.0
17	選択	○					動物のからだの つくりとはたらき	だ液のはたらきを調べるための対照実験を構想できる。	55.9	54.6	1.3
18	選択	○						だ液にふくまれている消化酵素がアミラーゼであることを理解している。	68.2	76.9	-8.7
19	選択	○					気象の観測	圧力の求め方を理解している。	33.4	40.5	-7.1
20	短答	○						飛行機に乗って上空にいるときに、ふたをしたペットボトルがへこんでしまった理由について理解している。	48.0	53.4	-5.4
21	短答	○					前線の通過と天 気の変化	温暖前線と寒冷前線の前線面の断面と雲のようすを理解している。	26.3	31.6	-5.3
22	記述	○	○					グラフや天気図の記号を分析し、寒冷前線が通過したことを説明できる。	30.2	38.0	-7.8
23	短答	○		○			電流の性質	電熱線の抵抗の大きさを求めることができる。	61.7	58.6	3.1
24	短答	○		○				結果のグラフから、電熱線に電流を流す時間と水の上昇温度の関係を推測できる。	74.9	73.7	1.2
25	記述	○	○	○				並列でつないだ方が、電熱線による水の上昇温度が大きくなることを説明できる。	10.5	11.9	-1.4
26	選択	○		○			電流と磁界	磁界の中で電流の大きさを変えたときのコイルのようすを指摘できる。	32.2	39.3	-7.1
27	選択	○		○				電流の向きを逆にすると、コイルの動く向きが逆になる理由を理解している。	53.4	59.2	-5.8
28	選択	○					日本の気象	梅雨前線について理解している。	45.7	47.8	-2.1
29	選択	○						まとめから、ゲリラ豪雨と線状降水帯の特徴について推測できる。	44.5	44.1	0.4
30	短答	○						近年、日本海側で降る雪の量が増えている理由を推測できる。	40.5	45.3	-4.8
31	短答	○		○			電流の正体	静電気について理解している。	63.2	67.5	-4.3
32	記述	○	○	○				粉末インクが帯電していない部分以外に付着しない理由を説明できる。	25.9	28.3	-2.4
33	選択	○		○				感光体の全体に光を当てた状態でコピーしたときの結果を推測できる。	43.1	44.8	-1.7

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】（知）知識・技能 （思）思考・判断・表現

（態）主体的に学習に取り組む態度

【領域について】（エネ）エネルギー （粒子）粒子 （生命）生命 （地球）地球

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
12	植物のからだのつくりとはたらき	葉にワセリンをぬる理由を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
24	電流の性質	結果のグラフから、電熱線に電流を流す時間と水の上昇温度の関係を推測できる。	思考・判断・表現	短答

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号16」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
16	26.7	39.7	-13.0	知識・技能	選択
問題の内容	動物のからだのつくりとはたらき				
出題のねらい	アンモニアの排出について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	体内に取り込まれた物質がどのようにして体外へ排出されるのかを、モデル図を用いながら、学習他者と対話したり、自分の考えを修正したりしながら学習を進めていくことが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
22	30.2	38.0	-7.8	思考・判断・表現	記述
問題の内容	前線の通過と天気の変化				
出題のねらい	グラフや天気図の記号を分析し、寒冷前線が通過したことを説明できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	寒冷前線は、前線通過後に気温が低くなるだけでなく、前線を形成する冷たい空気と押し上げられる温かい空気がぶつかる前線面沿いに積雲ができる。このことを、理科の見方・考え方を働かせながら、立体的なモデル実験を通して気温や湿度、風向き、雲の形成方法などを多面的に捉え、前線通過前後の変化を見つけ出すような探究的な授業を展開することが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
26	32.2	39.3	-7.1	思考・判断・表現	選択
問題の内容	電流と磁界				
出題のねらい	磁界の中で電流の大きさを変えた時のコイルのようすを指摘できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	電流が磁界から受ける力の向きは、電流の流れる方向が変わると逆になる。このことを、理科の見方・考え方を働かせながら、電気ブランコの実験装置を使って目に見えない電流や磁界の向きを視覚化する。そして、電流の流れる向きを変えたり、磁石の位置を変えたりすることで、電流と磁界の関係を比較するような探究的な授業を展開することが大切である。				

こんな姿を
目指したい！

理科の見方・考え方をはたらかせて、 探究的に学ぼうとする生徒

課題がある設問（通し番号 16）

- 血液に含まれる有害な物質であるアンモニアが肝臓のはたらきによって無害な尿素に変わる仕組みを答える問題。
- 肝臓と腎臓のはたらきの違いを答える問題。

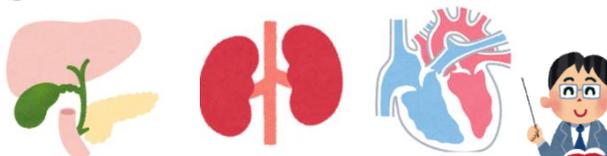
分析と課題

- 情報を整理し、知識を活用することに課題がある。

課題改善のために…

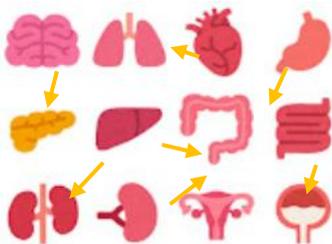
- 理科の見方・考え方を働かせて、血液の循環と各器官のはたらきを関連付けて学習者が探究できる機会をつくる。
- 既習の学習内容を「関連付け」ながら、血液中の物質をモデル図を用いて体外へ排出される仕組みを対話的に学ぶ場面を設定する。

2 学年の学習で… 日々の学習における改善・充実



肝臓、腎臓、心臓など小単元で人体の各器官の大切なはたらきについて学習を進めていきます。

一つ一つの器官を学習している時は理解できるけど、単元が進んでいくと覚えることが多くなってくるなあ。



それなら、それぞれを別々で覚えるより、関連付けた方が理解しやすくなるわ。

大事なのは「各器官のはたらきを関連付けて」小単元で学んだことにつながりをもたせて学ぶことです。

学習する際に言語化したものを「モデル図」など視覚的に理解しやすいツールを使うことがとても有効です。



モデル図があると友達にも説明しやすいね。

モデルを実際に動かして血液を循環させてみよう。



肝臓と腎臓の働きの違いがわかりやすいね。

授業の終盤には学習者が「学んだことがつながっている」という感覚を身に付けるために、自己評価シートや新たな問いづくりなど「ふりかえり」を充実させることも意識しましょう。

- ①理科の見方・考え方を学習者が意識的に使用しながら探究の過程をたどっていきけるような問いや、思考のツール、学習形態を工夫。
- ②単元を貫く本質的な問いを設定するなど、小単元で学んだ内容が、進んでいくにつれて関わり合って新たな学びにつながっていく単元展開とふりかえりの工夫を意識していく。

学習者の学びが「自走」するように、つながりのある単元学習と協働的な振り返りの場面を設定しよう！

ここが
Point

教育課程実施状況調査 中学校 第3学年 英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
504	32	47.1	50.9	-3.8

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	聞くこと	51.5	53.3	-1.8
	読むこと	53.6	59.5	-5.9
	書くこと	32.7	34.9	-2.2
観点	知識・技能	59.6	64.1	-4.5
	思考・判断・表現	31.0	33.8	-2.8
	主体的に学習に取り組む態度	19.1	20.0	-0.9
解答形式	選択式	56.2	60.9	-4.7
	短答式	41.8	45.0	-3.2
	記述式	19.9	20.7	-0.8

設問別正答率												
通し 番号	解答 形式	観点			領域			問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	(ポ イント の差)
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	○			○			リスニング (内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(禁止の命令文)	49.0	44.5	4.5
2	選択	○			○				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(時制と天気)	85.1	91.5	-6.4
3	選択	○			○				絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(比較表現)	62.7	63.2	-0.5
4	選択	○			○			リスニング (対話文の応答)	対話を聞き、適切に応答している。(弟と公園で遊んでくれないかとたずねられて)	74.8	78.5	-3.7
5	選択		○		○				対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に 応答している。(なぜそれを作っているのか とたずねられて)	36.3	37.2	-0.9
6	選択		○		○				対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に 応答している。(所有物を使用していいかと たずねられて)	65.7	69.7	-4.0
7	選択		○		○			リスニング (さまざまな英文 の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を 把握している。	40.5	43.9	-3.4

8	選択		○		○			リスニング (さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	29.8	33.1	-3.3
9	記述		○	○	○			リスニング (対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて自分の考えを書いている。	19.8	18.4	1.4
10	選択	○					○	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(There are ~.の文)	67.7	73.7	-6.0
11	選択	○					○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(lookを用いたSVCの文)	71.6	69.1	2.5
12	選択	○					○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(副詞的用法の不定詞)	65.5	65.9	-0.4
13	選択	○					○		対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(最上級)	61.1	70.8	-9.7
14	選択	○					○	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	80.0	89.2	-9.2
15	選択	○					○			58.1	68.2	-10.1
16	選択		○				○	さまざまな英文の読み取り	発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	44.2	53.9	-9.7
17	選択		○				○		ポスターを読み、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選んでいる。	52.4	58.1	-5.7
18	選択	○					○		対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた語句を選んでいる。	62.3	71.1	-8.8
19	選択		○				○		対話を読み、対話の流れと資料から、必要な情報を把握して適切な金額を選んでいる。	31.9	36.8	-4.9
20	選択	○					○	長文の読み取り	メールを読み、その内容を理解している。	43.7	46.2	-2.5
21	選択	○					○		メールを読み、代名詞itが指す内容を理解している。	53.2	63.2	-10.0
22	選択	○					○		メールを読み、その内容を理解している。	44.2	50.5	-6.3
23	短答		○	○			○		メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	14.3	16.0	-1.7
24	短答	○					○	単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(動名詞)	53.6	58.4	-4.8
25	短答	○					○		文の語順を理解し、正確に書いている。(giveを用いたSVOOの文)	59.3	59.9	-0.6
26	短答	○					○		文の語順を理解し、正確に書いている。(形容詞的用法の不定詞)	28.0	34.1	-6.1
27	短答	○					○		文の語順を理解し、正確に書いている。(比較級)	53.8	56.6	-2.8
28	記述		○	○			○	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(部員数をたずねる)	5.6	10.7	-5.1
29	記述		○	○			○		対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(見た場所をたずねる)	15.7	16.2	-0.5
30	記述		○	○			○	3文以上の英作文	学校の制服について、自分の考えや意見を相手に伝わるように書いている。	32.9	33.1	-0.2
31	記述		○	○			○		学校の制服について、自分の考えに対する理由や説明を、相手に伝わるように書いている。	30.6	30.2	0.4
32	記述		○	○			○		学校の制服に対する自分の考えや意見について、まとめた内容で紹介する英文を、相手に伝わるように書いている。	14.7	15.3	-0.6

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】 (知) 知識・技能 (思) 思考・判断・表現 (態) 主体的に学習に取り組む態度
【領域について】 (聞) 聞くこと (読) 読むこと (話) 話すこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
2	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解しているかどうかをみる。(時制と天気)	知識・技能	選択
4	リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、適切に応答しているかどうかをみる。(弟と公園で遊んでくれないかとたずねられて)		選択
11	語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解しているかどうかをみる。(lookを用いたSVCの文)		選択
14	語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。		選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号16」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
15	58.1	68.2	-10.1	知識・技能	選択
問題の内容	語彙の知識・理解				
出題のねらい	対話文の情報を読み取り、その内容を理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	常活動やSmall Talkを通し、意味のある文脈の中で既習事項を繰り返し使用させることが必要である。また、自らの考えをただ一言で伝えるのではなく、接続詞などを活用して自身の考えの理由や根拠を伝える言語活動を継続的に実施し、適切なフィードバックを与えながら言語面の正確性と内容面の適切さについて指導することが大切である。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
16	44.2	53.9	-9.7	思考・判断・表現	選択
問題の内容	さまざまな英文の読み取り				
出題のねらい	発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	文章のあらすじや流れを読み取る力や、理解できる英文をもとに文章全体や詳細について推測する力を生徒につけさせたい。課題改善のために、リーディング活動の際には、各段落のタイトルをつける活動、段落と段落の関係を図示する活動、書き手が最も伝えたい部分を探し線を引く活動、要約文を書く活動などが考えられる。				
通し番号	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	全国との差 (ポイント)	観点	出題形式
28	5.6	10.7	-5.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容	場面に応じて書く英作文				
出題のねらい	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いているかどうかをみる。(部員数をたずねる。)				
学習の指導に当たって	会話の流れを読み取る力をつけるために、普段から文脈のある文章や言語活動を準備し指導を行う必要がある。また、話したり書いたりする場面において、生徒に単語やフレーズではなく文表現をさせることも重要である。他にも、生徒は小学校外国語活動・外国語科の学習を通して様々な問いかけについて学んでいることから、小学校の学習内容や言語活動を中学校の教員が把握し、学びを引き継ぐ小中連携を意識した指導を行っていく必要がある。				

こんな姿を
目指したい！

文と文の関係性を正確に読み取り、 短い文章の概要を捉えることができる生徒

課題がある設問（通し番号 16）

発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいるかどうかをみる問題

分析と課題

- ・各段落の主な内容を読み取ることに課題がある。
- ・それらを過不足なく関連付けて、短い文章の概要を捉えることに課題がある。



言語活動を通して

日々の学習における改善・充実

文章を読む目的を把握する



Shiori wrote an article about "the library in her town." Let's read the article to understand the outline.

大まかな内容を読み取ればいいんだ

文章を読み、各段落の主な内容を捉える

(1) 各自のペースで文章を読み、主な内容をつかむ

Let's read the article. Find the main point of each paragraph.



第一段落のメインの話題はこれかな

(2) 各自の考えをグループ内で共有し検討する

第2段落

There are many kinds of spaces, too. For example, people can read books on sofas, on tatami mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.



I think this is the main point of paragraph 2.

やり取り

"For example"とあったので、そのあとは例が書かれていると思いました。

なるほど

段落間の関係を把握する

I have a question. I think "The library in our town is more creative, too." is the main point of paragraph 1.

What do you think?

I think "The Library in our town is more creative, too." is the main point of whole article.



"We can do a lot of things there." "There are many kinds of spaces." "Our creative library can connect people." といった文がクリエイティブなところを表していると思います。

やり取り

概要としてまとめた英文に情報の不足や偏りがないか検討する

Shiori wrote four outlines of the article. Which one is the best?

やり取り

① The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.

I think "①" is the best answer. This has the main point of whole article and the main point of each paragraph.

④ The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

これは第3段落のことしか書かれてないね。



学んだことを別の状況でも活用する

大まかな内容を捉えよう

この文とこの文の関係は…

意味のある文脈、言語の働きを意識した使用場面を設定しよう！
既習事項を整理し、他の状況でも活用できる場面を仕組もう！

ここが Point

全国学力・学習状況調査 質問調査について



児童生徒と学校を対象とした学習や生活に関する様々な面についての調査結果をまとめました。

児童生徒質問調査

人が困っているとき
進んで助けている

自分には
よいところがある

先生は
よいところを
認めてくれる

地域や社会を
よくするために
何かしたい

将来の夢や
希望を持っている

いじじゃん!やまなし2024

誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す教育の実現に向けて

校外の各教科等の
教育に関する
研究会等に
定期的継続的に
参加している

一人一人に
配備されたPC・
タブレットなどのICT
機器を授業で
活用している

家庭学習について、
児童が学ぶ内容や
学び方を決めるなど、
工夫して取り組める
ような活動を行
った

授業研究や
事例研究など
実践的な研修を
行っている

学校質問調査

※質問調査において肯定的な回答が全国と比べて比較的高い項目

ICT活用

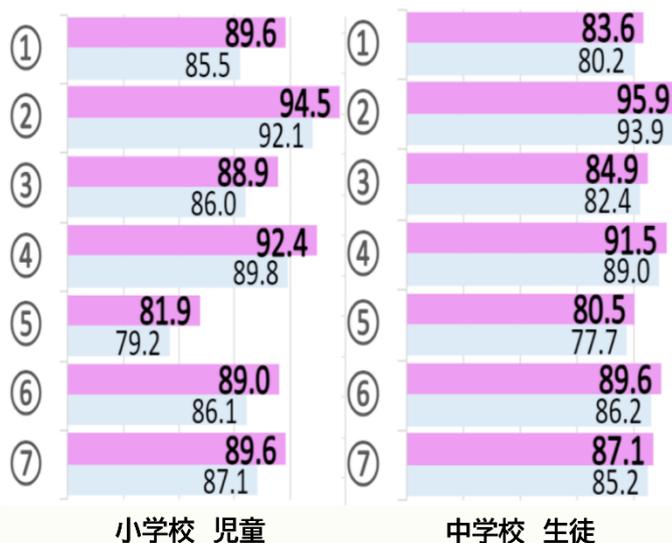
児童生徒質問調査項目 …■

学校質問調査項目 …■

次の場面でPC・タブレット等のICT機器を活用できている

【とてもそう思う】【そう思う】

- ① 自分のペースで理解しながら学習を進める
- ② 分からないことがあった時に、すぐ調べる
- ③ 楽しみながら学習を進める
- ④ 画像や動画、音声等の活用により、学習内容がよく分かる
- ⑤ 自分の考えや意見を分かりやすく伝える
- ⑥ 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
- ⑦ 友達と協力しながら学習を進める



■山梨 ■全国

次の場面でPC・タブレット等のICT機器を週3日以上活用した

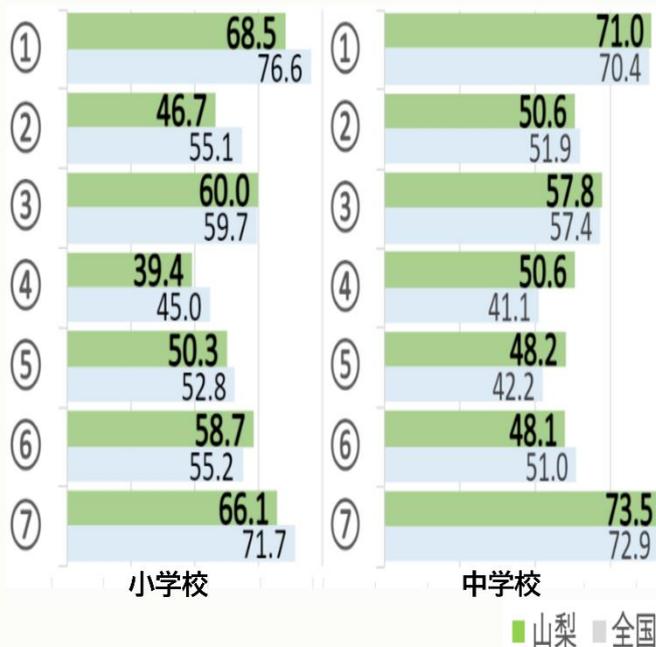
- ①自分で調べる
- ②自分の考えをまとめ、発表・表現する
- ③教職員とやりとりする
- ④児童生徒同士がやりとりする
- ⑤自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む

【年1回以上】

- ⑥学校外の施設にいる人々とやりとりする

【よく活用】【どちらかといえば活用】

- ⑦教職員と家庭との間で連絡を取り合う



■山梨 ■全国

中学校は、ほとんどの項目で全国を上回っています。「まだできない」と考えずにチャレンジして、活用場を広げていきましょう。

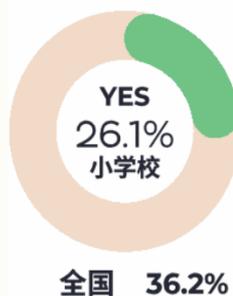
一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしているか

【毎日持ち帰って、毎日利用】【毎日持ち帰って、時々利用】

☆より効果のある活用方法を探っていきましょう！

☆「意図をもったICTの活用」「身に付けさせたい力を意識した取り入れ方」をすることでより一層の学力向上を！

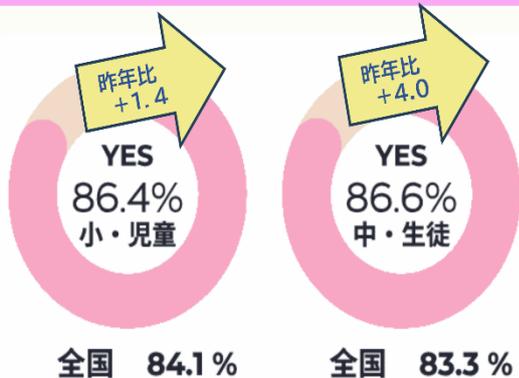
家庭への持ち帰りや、持ち帰ってどう利用させるのかには課題があります。



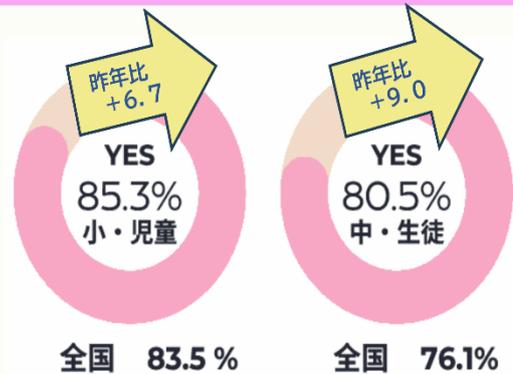
児童生徒質問調査項目 …■
 学校質問調査項目 …■

自己有用感

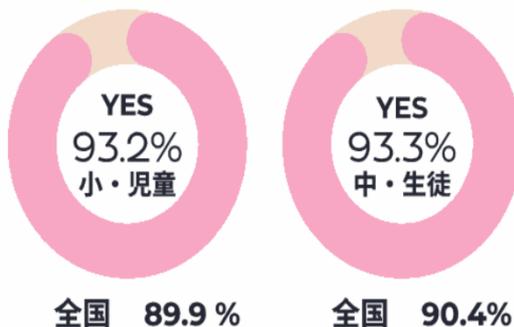
自分には、よいところがある



地域や社会をよくするために
 何かしてみたい



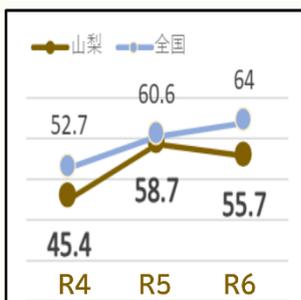
先生はあなたのよいところを
 認めてくれている



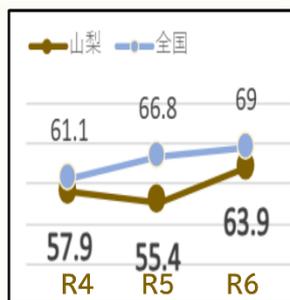
☆日々の学級経営に支えられた児童生徒の高い自己有用感がうかがえます。
 ☆子供たちは認められることで自信を持ち、「自分のよさ」を伸ばそうとしています。

小中連携・地域連携

近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った

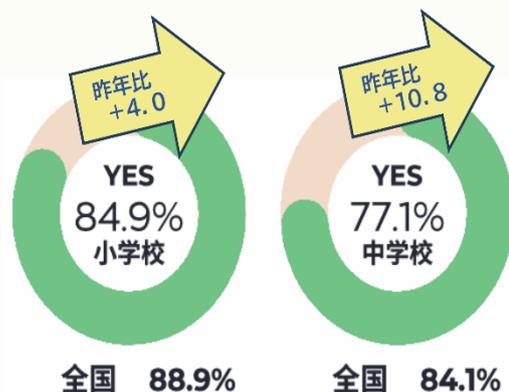


小学校



中学校

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった



☆小中学校の連携、地域との連携をより一層進めていきましょう！

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

授業中課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる



全国 81.9%



全国 80.3%

肯定的に回答した児童生徒ほど、正答率が高い傾向にあります。※

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる



全国 83.7%



全国 79.0%

※印…令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問調査報告書 参照

学級の児童生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる

小 88.8%(+2.5)

昨年比 +4.8

中 89.7%(+3.6)

昨年比 +6.5

教員の継続的な指導が、児童生徒の肯定的な回答につながっています。



児童生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる

小 96.9%(+3.3)

中 97.6%(+1.5)

全国学力・学習状況調査の結果を他の学力調査の結果と併せて分析し、教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている

小 87.3%(-5.5)

昨年比 +5.2

中 95.2%(+5.9)

昨年比 +8.4

☆主体的で対話的な深い学びの視点からの授業改善を！
☆個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実！

()内は全国平均との差

※上記の質問調査リーフレット「いいじゃん！やまなし2024」を各学校3部ずつ配付しています。校務支援キャビネットと総合教育センターホームページにも掲載していますので、ご活用ください。

授業の改善・充実に向けて、ご活用いただくための資料を配信します！

総合教育センターホームページ

 山梨県総合教育センター
Yamanashi Prefectural Education Center

☎ 緊急連絡なし



「ピックアップ問題」は、各種学力調査（全国学力・学習状況調査、県学力把握調査、教育課程実施状況調査）の結果を踏まえ、調査問題から問題を選び、授業や短時間の学習で活用できるようまとめたものです。各学校で活用してください。



校務支援システム

本センターでは、各種学力調査（全国学力・学習状況調査、県学力把握調査、教育課程実施状況調査）の結果を踏まえ、授業の改善・充実に向けた説明会を実施したり、リーフレットや冊子を作成したりしています。それらを、校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにしています。各自でダウンロードできますので、授業の改善・充実に向けて参考にしてください。

「キャビネット」→「総合教育センター」→「調査研究課」のフォルダに、資料があります。

本センターでは、学校現場で役に立つ情報を「教育情報コンテンツデータベース」として発信しています。各コンテンツは、カテゴリごとに分けられています。

- 🏠 ホーム
- 📖 センター紹介
- ✍️ 研修
- 📁 ICT・研修資料**
- 📊 調査・研究
- 👤 相談支援センター
- 🏢 指導主事等派遣
- 🏠 山梨県教育関係施策

- 🗺️ サイトマップ
- 🔗 アクセス
- 💬 お問い合わせ
- 🔗 リンク
- 📄 センターブログ



- 📁 ICT・研修資料** ▶️ 研修 オンライン
- 📊 調査・研究 ▶️ 研修 オンデマンド
- 👤 相談支援センター ▶️ YeL (やまなしeラーニング)
- 🏢 指導主事等派遣 ▶️ ICT活用
- 🏠 山梨県教育関係施策 ▶️ **指導案 実践事例 教材等 (コンテンツデータベース)**



山梨県総合教育センター
教育情報コンテンツデータベース

コンテンツ検索トップ | カテゴリ一覧表示 | アクセスランキング | 利用のガイドライン

コンテンツカテゴリ一覧表示

学習指導案 登録件数: 972件

センター研究紀要 山梨県 登録件数: 132件

一般留学生報告書 YPEC 登録件数: 19件

教育課程実施状況調査報告書(H24~H27) H28からはセンター研究紀要へ掲載 登録件数: 12件

ICT活用実践事例 登録件数: 24件

デジタル教材 登録件数: 146件

防災教育コンテンツ YPEC 登録件数: 6件

ヒントでひらめき食育実践編 YPEC 登録件数: 26件

授業素材(小学校) 登録件数: 56件

食育へのひみつを教えます 登録件数: ...

授業素材(中学校) 登録件数: 60件

授業素材(高等学校) 登録件数: 255件

「ふるさと山梨」郷土学習コンクール作品及び紹介ビデオ 登録件数: 265件

山梨県総合教育センター
教育情報コンテンツデータベース

コンテンツ検索トップ | カテゴリ一覧表示 | アクセスランキング | 利用のガイドライン

コンテンツカテゴリ一覧表示

学習指導案 登録件数: 972件

センター研究紀要 山梨県 登録件数: 132件

一般留学生報告書 YPEC 登録件数: 19件

教育課程実施状況調査報告書(H24~H27) H28からはセンター研究紀要へ掲載 登録件数: 12件

ICT活用実践事例 登録件数: 24件

デジタル教材 登録件数: 146件

防災教育コンテンツ YPEC 登録件数: 6件

ヒントでひらめき食育実践編 YPEC 登録件数: 26件

授業素材(小学校) 登録件数: 56件

食育へのひみつを教えます 登録件数: ...

授業素材(中学校) 登録件数: 60件

授業素材(高等学校) 登録件数: 255件

「ふるさと山梨」郷土学習コンクール作品及び紹介ビデオ 登録件数: 265件



子供たちのよりよい学びのために

令和6年度 授業改善のPoint

発行 令和6年10月
編集所 山梨県総合教育センター
調査研究課

〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1456
TEL 055-262-6180（直）

本冊子は、山梨県総合教育センターホームページに掲載しています。



